

令和8年度

事業計画

社会福祉法人光照園法人本部

王子光照苑

(管理部・特別養護老人ホーム・通所介護・地域包括支援・居宅介護支援)

北区立堀船高齢者在宅サービスセンター

北区豊島高齢者あんしんセンター

社会福祉法人光照園
王子光照苑

所在地：東京都北区王子3丁目3番地1号

電話：03(3927)9851 FAX：03(3927)9835

令和8年度 法人本部事業計画 目 次

頁

I 理念・品質方針	1
-----------	---

II 令和8年度法人本部事業計画

I. 事業計画の作成の基本	2
---------------	---

II. 令和8年度重点目標と計画	2
------------------	---

1. 重点目標	2
---------	---

2. 計画	2
-------	---

III. 理事会の開催	3
-------------	---

IV. 令和8年度予算	4
-------------	---

令和8年度 王子光照苑事業計画

目 次

頁

Ⅲ. 令和8年度重点目標	5
Ⅳ. 王子光照苑組織職制一覧	9
Ⅴ. 会議・委員会	
1. 定例諸会議・委員会	10
2. 会議機構図	11
3. 各会議・委員会の担当表	12
Ⅵ. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	
1. 相談支援	
(1)生活相談・入所検討委員会	13
(2)施設サービス計画	14
(3)ケース会議	14
2. 介護	
(1)介護職員の育成	15
(1-②)委員会係担当表	17
(2-①)介護職員の勤務時間および勤務内容	18
(2-②)利用者および職員の週課表	20
(3)行事スケジュール	21
(4)アクティビティ活動	22
(5)写真係	23
(6)生活環境整備（生活企画係）	23
3. 看護	25
4. リハビリテーション	25
5. 栄養	26
6. 施設サービス部専門委員会	
(1)安全対策委員会	28
(2)生産性向上委員会	29

(3)排泄委員会	29
(4)リスク委員会	30
(5)褥瘡予防委員会	31
7. 家族懇談会	31
VII. 短期入所生活介護事業	32
VIII. 居宅介護支援事業	33
IX. 通所介護事業及び総合支援事業通所介護サービス	
1. 高齢者在宅サービスセンター王子光照苑	34
2. 堀船高齢者在宅サービスセンター	35
3. 行事年間予定	36
4. クッキング	38
5. アクティビティ活動	39
X. 認知症型通所介護事業	
1. 高齢者在宅サービスセンター王子光照苑	39
2. 堀船高齢者在宅サービスセンター	40
XI. 地域包括支援センター事業（北区委託事業）	
1. 王子光照苑高齢者あんしんセンター	42
2. 豊島高齢者あんしんセンター	45
XII. 各事業共通項目	
1. サービス業務管理	
(1)経営管理職会議	47
(2)目標管理	47
(3)内部監査	48
2. 管理部	
(1)財務管理	48
(2)インフラストラクチャー	48
(3)労務管理	49

(4)車両運用管理	51
3. 災害対策	
(1)防災委員会の実施/防災訓練	51
4. 広報活動	
(1)広報委員会	53
5. 人材育成	
(1)職員研修	54
(2)実習生受入れ（施設実習担当委員会）	56
6. ボランティアの拡充	56
7. サービス内容に関する苦情受付対応	57
8. 委員会	
(1)ハラスメント委員会／コンプライアンス委員会	58
(2)身体拘束適正化委員会	59
(3)虐待防止対策委員会	59
(4)感染症対策委員会	60
(5)リスクマネジメント委員会	61
(6)安全衛生委員会	61
(7)食事サービス委員会.....	63
XⅢ 地域社会福祉貢献活動	
1. 地域福祉活動・地域行事	64
XⅣ. 中長期計画	65

I. 理念・品質方針

施設の理念

社会福祉法人光照園は、王子・江戸川の人情に篤い地にあることを誇りに思い、住み慣れた地域で、尊厳をもって「その人らしく」に生活できるよう支援します。

行動指針

- 一、 私たちは、利用者・家族・地域の人々のご意見を十分に受け止め、サービスの質の向上・求められるサービスの提供に努めます。
- 一、 私たちは、利用者一人ひとりの思いを受け止め、共感し、熱心な支援者として接します。
- 一、 私たちは、利用者の生き方を受け止められるよう人間として成長し、専門性を身につけサービスの向上に努めます。
- 一、 私たちは地域社会の一員として、事業経営の安定性と透明性を確保するとともに、環境や命を大切にした地域づくりに貢献します。

Ⅱ．令和 8 年度法人本部事業計画

法人理念を実現する法人運営

本法人は、北区・江戸川区の 2 地区に事業拠点を有し、北区に所在する王子光照苑は設立以来 37 年、江戸川光照苑は 29 年という、長い歴史を持ち、高齢者福祉サービスを中心に地域の方々のご要望に応じてきた。これまで積み上げてきた経験を活かし、さらに利用者・家族・地域の皆様の要望に応えられる法人運営をめざしていく。

I 事業計画作成の基本

(1) 7 年度は、江戸川光照苑において、6 年度に引き続いての職員不足という大きな課題を抱えたままの大変厳しい運営状況にあった。

また、王子光照苑では、7 年度東京都の実地検査において、加算の算定誤りが指摘され施設運営という視点からも、課題が浮き彫りになった年であった。

8 年度は、各事業で抱える課題を再度整理し、職員共通の課題として具体的な課題解決に努めることを運営の基本とする。

(2) 8 年度事業目標及び事業計画は、7 年度事業計画において未着手若しくは未到達である事項の着実な実施に努める。

Ⅱ 令和 8 年度重点目標と計画

1 重点目標

信頼される事業の確立と求められるサービスの実現

2 計画

(1) 人材の確保と育成

事業運営の要となる人材の確保と法人理念をともに実現していく職員の育成

ア 人材の確保

職員退職後の早期補充と離職しない職場づくり

- ・ 在留資格外国人（特に特定技能在留資格者）の積極的採用
- ・ 雇用計画に基づく、多様な雇用形態による採用を進める。

雇用形態別の計画的職員採用

常勤職員雇用と非常勤職員雇用の認識と育成

短時間勤務等働き方と勤務体制の在り方のさらなる精査

- ・ 求人サイト、積極的広報など、様々な採用手段の活用
- ・ 職員自ら確認できる働く時間と業務の効率化

勤怠システム（給与支払い業務の外部化含む）の確実な構築

(超過勤務の適正な管理 有給休暇の取得の増加)

イ 人材の育成

法人理念・法人としての経営の理解

・法人内研修の実施

法人理念を踏まえた虐待の認識

コーチング研修（係長以上職員対象・職員を育てる、職員が辞めない職場）

BCP 研修

・経営改善のための課題の明確化と解決策の検討

職員の意見が反映できる検討体制による検討の実施

・部署毎の強みを活かす方策の検討（現場からの対策検討）

・新たなキャリアパスに基づく人事考課制度の実施

(2) 経営状況の改善

ア 各事業の決算状況における課題の分析と対応

(ア) 幹部職員の財務諸表の分析力の強化・知識の習得＝法人内研修

イ 財政面の危機感の全職員の共通認識

施設・設備の老朽化への計画的対応

(3) コンプライアンスの徹底（信頼される事業のために）

法人内部監査を概ね第三四半期の当初に実施

監査員の育成と新たな視野による監査の実施

王子は江戸川の、江戸川は王子の監査員が実施するなど

Ⅱ 理事会等の開催

内 容		開催回数
理 事 会	決算・予算 規程整理、課題検討、実績報告等	4 回開催
評議員会	決算 臨時開催	2 回開催
法人連絡会	コンプライアンス推進 各事業課題整理・検討等 ・連絡会の後に経営改善検討会を実施 また、必要に応じてコンプライアンス委員会を開催する。	月 1 回開催

Ⅲ 令和8年度予算

単位：円

科目	摘要	内容	予算額	備考
法人運営 人件費等	理事会	10,000×4 回×5 人	200,000	年 4 回
	評議員会	10,000×2 回×10 人	200,000	年 2 回
	監事監査・他	監事 2 名	100,000	決算監査,他
	交通費	理事会・評議員会・監査	50,000	実費支給
	役員報酬	理事長・執行理事・理事	3,030,000	3 人分
その他支出	評議員選定委員会	選定委員 3 人	60,000	
	苦情処理委員会	22,274×1 回×3 人	67,000	
	業務委託費	顧問弁護士料	660,000	1 年間分
		社会保険労務士	187,000	1 年間分
	事務費支出	法人運営事務費	200,000	
合 計			4,754,000	

Ⅲ. 令和 8 年度 事業計画作成について

1 はじめに

令和5年5月に新型コロナウイルスが2類から5類へと移行し、コロナ以前の生活に戻れるよう、感染予防対策を徹底しながら各事業とも運営を図ってきた。

令和6年6月に特別養護老人ホームにおいて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。十分な感染予防、感染対策をもってしても防ぎきることはできなかった。ただ、重症化することなく終息した。そのような中で、面会の制限の緩和、ボランティア活動の再開、外出行事の再開など、入居者の生活の質の向上に努めた。今年度は、更に、シーティングの専門家にスーパーバイズを受けながら、更なる入居者の生活の質の向上を図っていききたい。

特別養護老人ホームの利用率が、令和7年度では、90%代と順調に回復してきている。しかし、北区の入所システムの問題で、空床期間が長期化したままになっている。令和6年度 新規入所までの平均日数：53.7日 空床日数：967日。令和7年度は、新規入所までの平均日数：37.6日 空床日数：677日となっている。当施設としては、この空床期間の短縮化に向けて対応を検討しているが一施設で対応できる問題ではないため、北区施設長会などで問題の解決に向けた議論を進めていきたい。

同業他社同様に人材確保は困難を極めており、令和6年度、令和7年度は介護職員の退職はなかったが、1名の職員採用を行うのに人材紹介会社を通して1年半を要している。今後は、在留資格所持者を積極的に採用していくことが必要になっている。また、職員の平均年齢が上がり続けており、経験豊かなベテラン職員が増えることは、施設にとっての財産となるが、持続可能な施設運営を考えたときバランスが必要となる。ただ、この状況も当施設だけで解決できる課題ではないため、今後の取り組みを検討する必要がある。

また、令和7年7月にデイサービス棟の水道設備が故障し、約1か月にわたり給水が止まった。施設設備の老朽化による故障などに対応することも必要となっており、状況によっては、専門家の意見を聞く必要も生じる。何より安全な環境で安心して生活ができる環境を常に用意することが施設には求められる。住まいであることを念頭に施設設備の改善に努めていきたい。

令和8年度は、次期介護保険事業計画の改定準備の年になる。その動向を注視し、法人の理念を具体化していくことにより、地域住民の要望に応え、貢献できる運営を図っていく。また持続可能な施設運営が図れるよう、稼働率の向上（1日当たり、在館者50名以上）、加算の取得を積極的に行い、職員のモチベーションの向上、入居者の満足度の向上を目指していく。そのために、生産性向上による職場環境改善に取り組み、職員の労働環境の改善、入居者の生活の質の向上を図っていく。

2 計画の視点及び計画の内容

法人理念を実現すべく立案された重点目標と計画をもとに、各事業それぞれにおいてそれぞれに適した対応が可能となる計画を作成した。

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

- ・安定した事業運営を目指し、退所後の空床期間を短くするため、生活相談員の業務を精査し（他職種の業務精査含む）、入所希望者のアセスメント面接の機会を増やし、次期入所者を早急に決定していく。

- ・「L I F E」のフィードバックに十分に対応でき、さらに利用者サービスに反映すべく一部職員だけでなく、すべての職員がその内容と効果を理解し、有益に情報活用とケアに生かされる体制を作り、根拠ある介護を目指していく。

- ・介護面では、昨年に引き続き、褥瘡、皮膚疾患の発生防止・改善に向けた支援に取り組む。また、利用者の日常生活支援の内容や介護機器などの使用の見直し等をとおして、利用者が気持ちよく暮らせるための環境づくりを強化する。

- ・優先事項として、シーティングの専門家からスパーバイズしてもらいながら、安楽で安心して移動ができるように、支援していく。また、有効なICT、介護ロボットなどの導入を検討し、決定し、職員の業務負担を軽減し、生産性の強化・効率化を図る。

- ・食事に関しては、食べやすさ、食材や料理本来の風味を活かし見た目の良さ、色合いにさらなる工夫を加えたソフト食を新たな食形態に加えていき、摂食嚥下に障害のある利用者に食べる楽しみを持っていただく。

(2) 短期入所生活介護

- ・これまでの利用者・家族、さらにはケアマネジャーからの信頼にさらに応えていけるよう、介護現場との連携を深め、稼働率の維持、向上を目指す。

- ・介護報酬改定にもある短期入所での「看取り介護」について内容を精査し、可能な限り受け入れできる体制を作る。

(3) 居宅介護支援事業

- ・介護サービス利用の窓口としての役割を果たすべく事業を行っていく。

- ・地域の中で利用者本人の居場所や最後までを見据えたケアプランを作成する。そのために、医療機関、サービス事業者等と連携を密にし、その情報をもとに、看取りまでのケアプランを、作成できるようにする。

(4) 通所介護事業

- ・地域の中での存在意義とこれまでの事業展開を再認識し、具体的な方向性を定め、有意義さアピールする情報発信を地域、家族、居宅介護支援事業所にしていくことで、65%以上の利用率を確保する。

そのために現在まで行ってきた営業活動のさらなる強化と具体的方法の追加を検討・実施し、効果測定をすることで利用率を確保する。

- ・事業計画の目標達成と実施計画の進捗管理を通所介護課連携会議で行う仕組みを構築し、評価・改善を行いサービスの質の向上を図る。

- ・利用者の在宅生活の把握を行い、在宅生活でのニーズをより詳細に捉え、自立生活を促す目標を立て、その目標に沿った訓練を各職種とともに実施する。

(5) 認知症対応型通所介護事業

- ・安定した在宅生活の継続につながる活動やサービスを提供し、その評価を家庭や居宅介護支援事業所にフィードバックする。また、職員と家族との信頼関係を強化し、利用率 75%を確保する。

一般通所同様に営業活動の強化と具体的方法の追加を検討・実施し、効果測定をすることで利用率を確保する。

- ・事業計画の目標達成と実施計画の進捗管理を通所介護課連携会議で行う仕組みを構築し、評価・改善を行いサービスの質の向上を図る。

(6) 地域包括支援センター事業

- ・住民のニーズにあった地域に密着した居場所（サロン）の提供をする。そのため、認知症カフェの定期的開催、在宅高齢者が求める「居場所」について住民や関係機関から聞き取りをし、きめ細かく選択できる居場所づくりを行う。地域包括支援センターと共同し活動できる人材や将来的に居場所づくりの核として活躍してもらえる人材を求めている。

- ・サロンの活動をより充実させ、利用者の増加を図る。

- ・多種多様な業務、相談に対応できるよう、個人のスキルアップのために研修や会議等を活用していく。

(7) 各種会議・委員会活動等

ア 経営管理職会議

- ・苑内の経営課題やリスクを明確化し、情報共有とマネジメントするために苑の幹部層による最高決定機関として「経営幹部会議」を設置・運営する。

運営⇒経営というマネジメントの変化から会議の内容を一新し、情報提供のみでなく、収支や財政の視点を幹部職員自ら把握し、議論できる場を作っていく。

イ リスクマネジメント委員会

「事故防止」「身体的拘束適正化」「虐待防止」「感染症・食中毒」「褥瘡」の必須委員会を全体リスクマネジメントに統括し、一体的に事例集計、分析、原因究明、防止策の検討・実施・効果評価をし、周知することで再発を防止していく。また、今まで独立して存在した「人材育成」「広報」「設備・環境調整」に關しての委員会を統合し、同様のメンバーで、育成方法、情報発信、設備・環境調整の課題抽出から解決策を検討する場を設ける。

ウ 生産性向上委員会

令和6年度介護報酬改定による、介護現場における生産性の向上に資する取組の促進を図る観点から、現場における課題を抽出及び分析した上で、事業所の状況に応じて、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の設置をし、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を活用し、ムリ・ムダのない ICT活用も視野に入れる。

エ 防災委員会（防災対策）

- ・すべてのサービス事業を対象とした事業継続計画について、感染症・地域との連携を踏まえた改定を行う。この計画に基づいた研修・訓練を確実に実施する。（令和6年度介護報酬改定より、研修・訓練の義務化が開始されることより）
- ・職員全員が災害時における役割を理解し行動できるよう火災訓練・防災訓練を計画的に実施する。研修は「地震」「水害」をテーマに行う。

オ ハラスメント委員会

- ・ハラスメント予防についての啓発活動を行い、各種ハラスメントが起きない環境づくりをする。今年度は介護離職の要因の一つと言われている利用者・家族からのハラスメントについての対応策を確立する。

3 その他の重点的实施事項として

○ 目標管理の徹底・内部監査の実施

各事業の進捗状況の確認と効果の検証のための目標管理の徹底、さらにコンプライアンス確保の視点から、法人との連携による内部監査を実施していく。

○ 長期的な人材採用・確保・育成・定着の仕組みの構築

事業の適切な運営のためには、良質な人材の確保は不可欠である。各部署単独でなく、施設全体で考える体制を施し、採用方法などはアウトソーシングしながら、日々情報を更新する仕組みを構築し、採用方法を確立する。また形骸化している人材育成の仕組みや定着に向けての方法を検討し定め、実施する。

○ ICTの導入と有効活用

生産性向上に資するためのDX導入により、専門的知見を外部からの参画により、ムリ、ムダのないICTの選定、導入を計画的に行っていく。何よりサービス向上に繋がり、かつ職員の業務省力化が図れることが重要な目的である。

○ 研修体制の強化と評価

集合研修が時間的にも人間的にも困難になってきていることから、eラーニングの活用を検討し、誰もがまんべんなく受講でき、スキルアップの機会を均等に与えられる環境を作る。

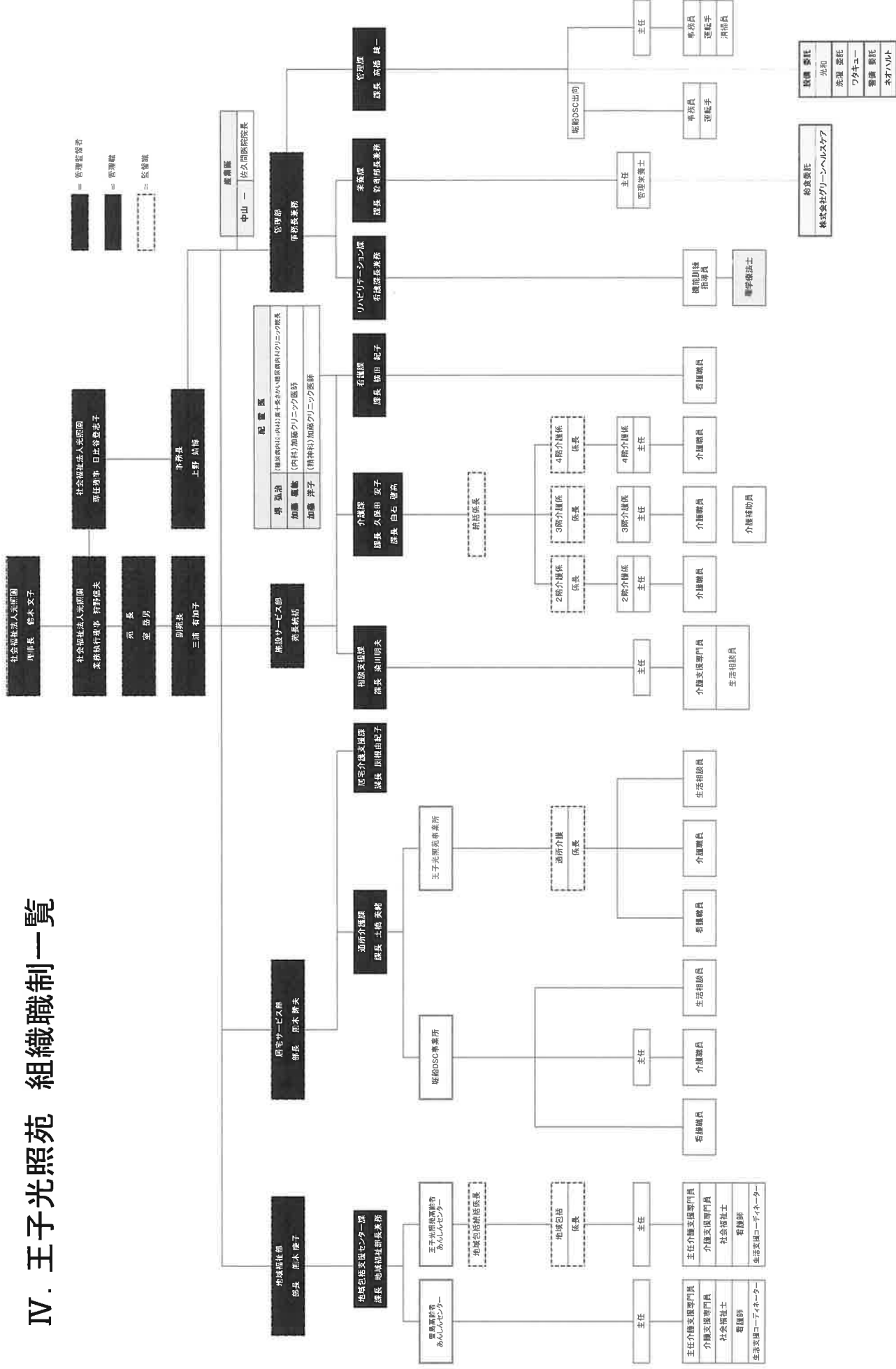
○ 有効な情報発信

施設の情報を的確に届けられるような体制を整備する。新規利用者獲得、職員採用、ボランティア募集に有用なホームページ、広報誌、パンフレットのリニューアル、そして現在では欠かせない各SNSの活用を検討、実施する。

○ 環境・設備

経年劣化のため、修繕が必要な個所を再点検し、修繕計画を立案する。また施設内を再点検し、物品の確保、不要な物品の洗い出し、書類整理等、環境整備に努めていく。

IV. 王子光照苑 組織職制一覽



V. 会議・委員会

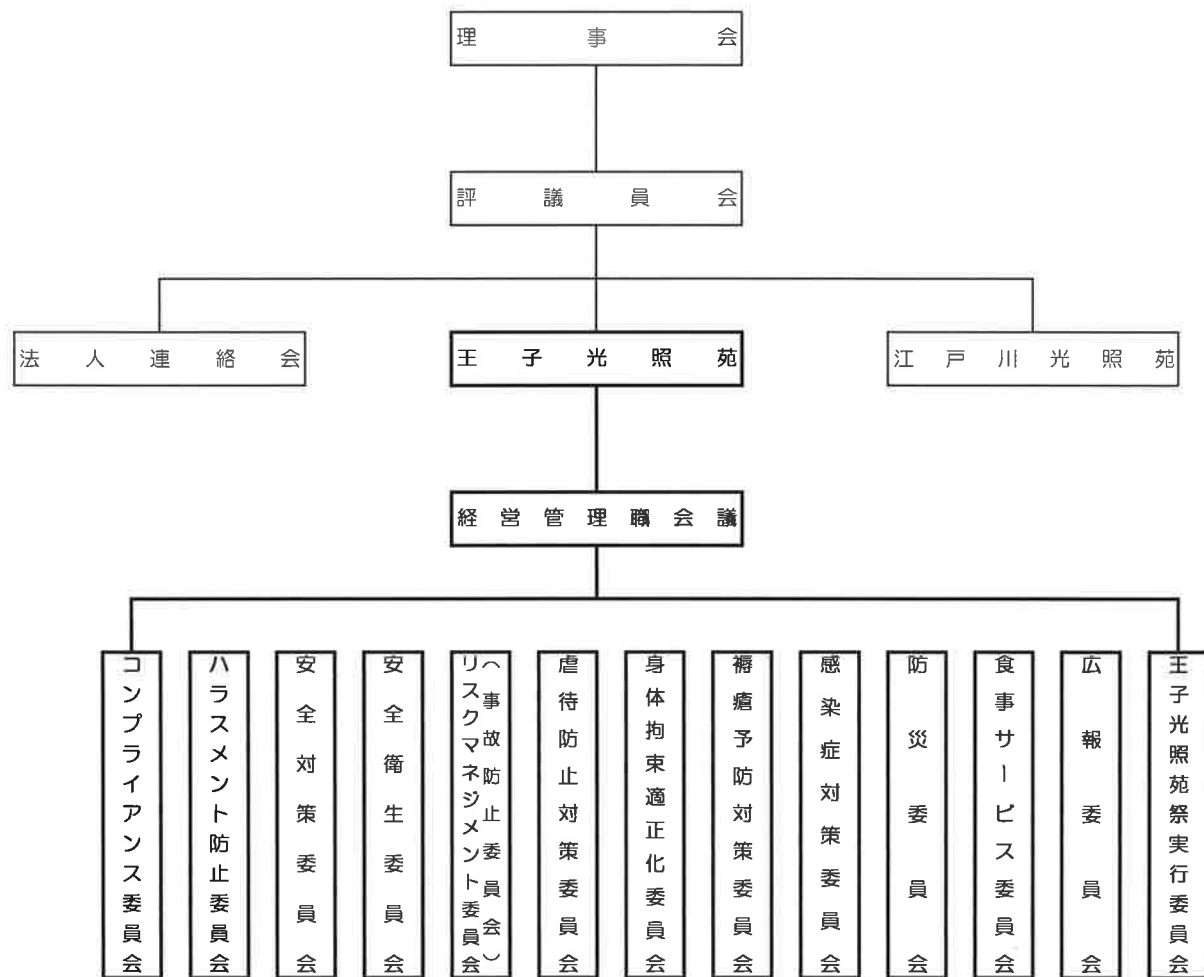
1. 定例諸会議・委員会一覧

会 議 名	開 催 日 時 間	参 加 職 員
経営管理職会議	第2金曜日 その他随時	14:30~16:00 経営職・各課長または課長代理 ※課長代理は、議事決定に当該課の委任を受けた者

委員会名	開催日	時間	委員会責任者
安全対策委員会	第3金曜日	13:30~13:40	高橋防火管理者
安全衛生委員会	第2火曜日	13:30~	
食事サービス委員会	第4火曜日	16:00~	
広報委員会	第2金曜日	16:30~	
防災委員会・BCP	6月、9月、12月、3月 第2火曜日	17:00~	白石介護課長
リスクマネジメント委員会	5月、8月、11月、2月 第4金曜日	16:30~	
ハラスメント 防止等委員会	偶数月 第1金曜日	15:00~16:00	
コンプライアンス委員会			横田看護課長・鮫島看護統括係長
感染症予防対策委員会 BCP	4月、7月、10月、1月 第4金曜日	17:30~	
身体拘束適正化委員会 虐待防止対策委員会	6月、9月、12月、3月 第4金曜日	17:10~	
			三浦副苑長

その他	開催日	時間	構成職員
内部監査関連 ミーティング	監査開催前後	調 整	内部監査員・被監査部門代表
ショートステイ連絡会議	1回/月	調 整	施設サービス部、居宅サービス部ショー ステイ担当者
介護課ミーティング	第1金曜日	調 整	苑長・介護課長・介護係長・生活相談員
フロアーミーティング	1回/月	10:00~10:40	介護課長・フロアー係長・看護課長・フ ロアー担当介護職員
職員会議	不定期	不定期	全職員
ケース会議	第3火曜日	15:30~16:30	精神科医師・介護支援専門員・生活相談 員
ケアプランカンファレンス	随時	調 整	介護支援専門員・介護職長・担当介護職 員・看護師・管理栄養士・機能訓練指導 員・生活相談員
ケアプランミーティング	随時	調 整	
リハビリミーティング	2回/月 木曜日	17:00~17:30	機能訓練指導員・理学療法士・看護師・ 生活相談員・介護支援専門員・介護職員
褥瘡予防委員会	第4金曜日	9:10~	生活相談員・管理栄養士・介護課長及び 介護職員・機能訓練指導員

2. 会議機構図



3. 各会議・委員会の担当表

【各会議・委員会の担当表】

会議・委員会名	委員長名	副委員長名	構成員・担当
経営管理職会議	上野靖博		
王子光照苑祭（実行委員会）	染川明夫	佐々木奈津美	小林修、染川明夫、佐々木奈津美、栗松あやか、大島綾華、岩本淳子、菊池弘美、関根由紀子、鈴木草江、小山由美、卯之木麻由
リスクマネジメント会議（事故防止委員会）	白石啓高		上野事務長、小林修、染川明夫、佐々木奈津美、白石啓高、笠原誠吾、岩本淳子、北條美央、太田康弘、卯之木麻由、熊木慶子
コンプライアンス委員会	市川康隆		久保田安子、鮫島美幸、市川康隆、三浦有加子
ハラスメント防止委員会	市川康隆		久保田安子、鮫島美幸、市川康隆、三浦有加子
食事サービス委員会	小林 修		稲福 学、八谷美穂、大島綾華
安全対策委員会			
安全衛生委員会	佐藤竜子（衛生管理者）		中山 一（産業医）、佐藤竜子、富田くみこ、鮫島美幸、小林修、榎本彩加
防災委員会	高橋純一（防火管理者）		白石啓高、笠原誠吾、熊木隆夫、岡本正一、土橋美緒、太田康弘、関根由紀子、鈴木草江、熊木慶子
広報委員会	染川明夫		高橋純一、染川明夫、佐々木奈津美、稲福学、小木野清一郎、岡本正一、今田麻子、矢内孝、棚橋正寿
虐待防止対策委員会	三浦有加子		久保田安子、白石啓高、稲福 学
身体拘束適正化委員会	三浦有加子		久保田安子、白石啓高、稲福 学
褥瘡予防対策委員会	横田紀子	鮫島美幸	
感染症予防対策委員会			久保田安子、加藤紫織、佐藤竜子、大島綾華
ボランティア調整係			久保田安子、加藤紫織、高橋純一
車両運行管理			高橋純一

※必要に応じて、オブザーバーとして苑長は各会議・委員会に出席することとする。

Ⅵ. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

1. 相談支援

(1) 生活相談・入所検討委員会

中長期計画	①介護報酬に沿った改定、体制整備の実施と周知を基とした、安定かつ持続的な稼働率の確保
	②安全安心な生活の提供を図る一環として、利用者が地域の一員として社会参加できるよう、地域との連携をより促進していく
	③家族と日頃より連絡を密にし、家族の思いやニーズを汲み取り、相互信頼関係を構築し、それが利用者の日常ケアにうまく繋がっていけるように図る
年度目標	
特養稼働率96%以上（1日当たり 48床以上）を維持できるようにする。	
(1)	また、空床ベッドをショートステイなどに利用するとともに、医療機関との連携を密にし、入院者の早期退院調整を図る。それとともに、算定可能な加算を継続的に算定・取得していく。
(2)	施設特別枠や緊急生活支援事業などの積極的受入れを行い、地域に根ざし地域に貢献できる施設作りを図る。
(3)	家族の面会時や、面会に来ていただけるよう手紙等でお声がけをしていく。家族の思いやニーズ等は記録に残すなど情報共有し、日々のケアに繋がられるようにする。
実施計画	
新規入所：新規入所までの空床期間をできるだけ短縮できるよう、速やかに入所判定会議⇒実調⇒入所となるように図る。	
(1)	日常生活継続加算を毎月入力し、なるべく介護度4以上を目指す。入院調整においては、協力医療機関又はその他の医療機関のMSWと連絡を密に調整を図る。
(2)	区役所や地域包括と連携を図りながら、施設特別枠としての入所や、緊急生活支援事業などの積極的な受け入れ調整を実施していく。
(3)	毎月送付する請求書と一緒に、行事等で撮った写真を同封し、家族等に施設での生活風景をより身近に感じていただけるよう図る。ラインの機能を積極的に活用（ライン面会等）し、家族との面会機会の確保を図る。
(4)	協力医療機関として、明理会中央総合病院と新たに神谷病院と協定締結する予定。

〈今年度予算〉（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
施設介護料収入	新たな基本報酬を元に1日分の合算額を算定し、令和8年1月末の平均要介護度（4.1）に応じた人数を乗じて年間100%となった場合の金額を算定し、それに96%を乗じた。	¥160,643,396	介護報酬 (処遇改善加算を除いた額)
施設介護料収入	全体の目標額の1割を算定	¥15,525,698	利用者自己負担金
施設介護料収入	福祉施設処遇改善加算Ⅰで算定	¥24,409,405	介護職員等処遇改善加算

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
利用者等利用料収入	食事代（利用率96%で算定）	¥30,212,160	特定介護サービス費および公費負担分を含む
	居住費（利用率96%で算定）	¥15,400,080	特定介護サービス費および公費負担分を含む
合 計		¥246,190,739	

〈今年度予算〉（支出の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
介護支援専門員更新研修	東京都福祉局	¥0	R8年度は該当者なし
研修費	東社協・全国老施協	¥30,000	交通費含む
合 計		¥30,000	

（２）施設サービス計画

中長期計画	①客観的、科学的介護を実践し、各部署へフィードバックすることで、より良い支援に繋がっていきけるよう、サービス担当者会議の充実化を図る
	②利用者・家族に対してより密なアプローチを行い、利用者・家族の意向を把握し、自立に向けた支援および、本人が楽しみの持てる生活が送れるよう、計画書を作成する
年度目標	
(1) LIFEのフィードバック等を活用し、PDCAサイクルに準じた計画立案を実施していく	
(2) 多職種参画により、利用者・家族のニーズや意向を十分アセスメントした上で、心身機能の維持・向上のためだけでなく、本人が楽しみを持って生活できるような施設サービス計画を作成する	
(3) 業務の明確化と役割分担をしっかりと再構築することで生産性を向上させ、その成果を利用者の個別ケアや安全性の向上につなげていく	
(4) 施設サービス計画作成にあたり、現状のリスク等を分かりやすく記載し、それぞれの職種の役割やケア方針を記載することで、職員一人ひとりが責任をもって職務を遂行できるようにする	
実施計画	
(1) LIFEから得られる全国的な指標を利用者ケアにフィードバックし、客観的に分析することにより、個別のケアプランにうまく反映させていく	
(2) アセスメントおよびモニタリングの目的やポイントなどの理解が深まるよう、計画的に必要な研修等を企画・実施する	
(3) 生産性向上委員会【仮】を組織・運営し、ICTや効果的な介護機器の選定・導入を促進していく	

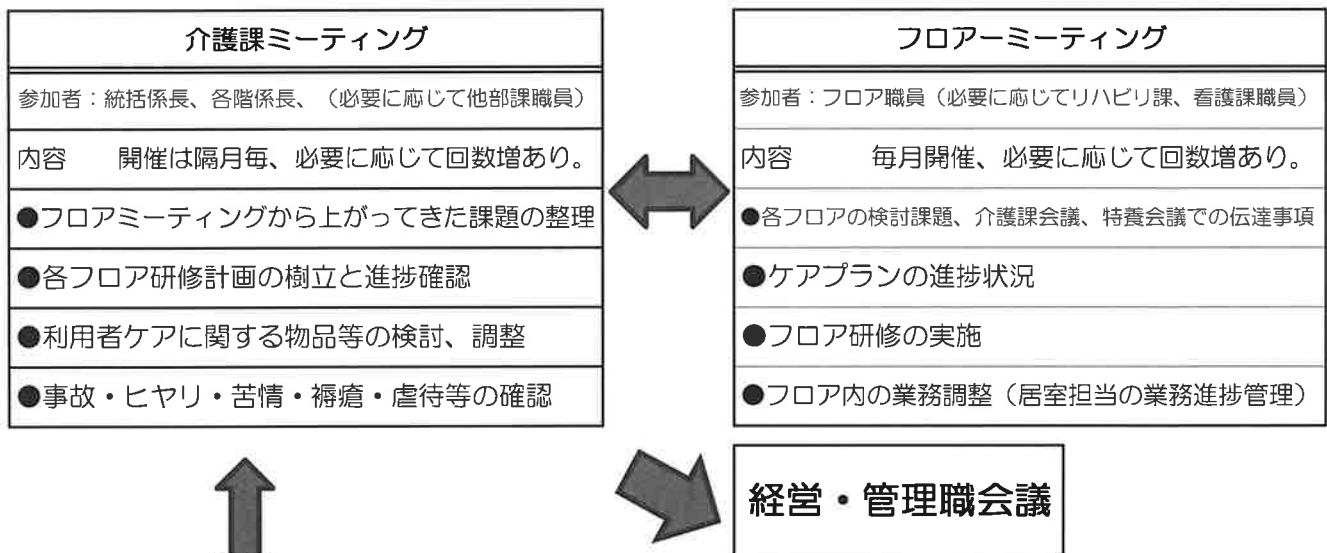
（３）ケース会議

年度目標	
(1) 各職種協働の元、認知症における向精神薬などの随時検討（服薬開始、減薬、増薬等）を行なう。また内服薬ありきで検討せず、具体的なケア方法などについても、随時精神科医のアドバイスを受けながら検討していく	
実施計画	
(1) 会議：第1・3金曜日（15:30～）	
(2) 対象利用者については事前に各部署のミーティング（会議当日の9:10～）で意見交換などを行ない、その結果をもとに精神科医から適宜療養指導を受ける。また、言動面等日々の記録を密に記載してもらうよう、各部署に周知する	

2. 介護

(1-①) 介護職員の育成

中長期計画	①支援の見直しと強化
	②介護機器の見直しと整備
	③看取りケアの推進
年度目標	
(1) 利用者の心身状態を的確に把握できる観察能力を高め、変化やニーズを早期に発見し、ケアプランを立案する	
(2) 業務の生産性を向上させ、その成果を個別ケアや安全性の向上につなげていく	
(3) これまでの看取りケアの経験を基盤に、利用者や家族の意思を確認しながら、多職種との連携強化しながらチームとして質の高いケアを提供する	
実施計画	
(1) 研修や個別指導、他職種との連携を通してアセスメント能力の向上を図り、必要なニーズを引き出し効果的なケアを提供する	
(2) センサー類や介護機器を導入し、日中の活動性や睡眠などの分析を行い、提供する介護プロセスの改善を行う	
(3) 看取りケアの研修を行うと共に、経験したケースの振り返りやフィードバックを定期的に行い、次のケアに活かす体制も整えていく	



専門委員会・係名称		
リスク委員会	生産性向上委員会	リハビリ委員会
排泄委員会	生活企画係	物品係
実習係	ボランティア係	クラブ活動係
写真係		

〈今年度予算〉（支出の部）

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
日用品費	日常生活用品	100×12ヶ月×¥45	¥54,000	トイレットペーパー
		12回（5パック）×¥300	¥3,600	ティッシュペーパー（5ヶ入り）
		12回（15ヶ入り）×¥2,000	¥24,000	ウエットティッシュ
		2×4×12回×¥4,080		ペーパータオル(30ヶ)
		3回（100本入り）×¥500		おしぼり
		25枚×3回×¥1,200	¥90,000	利用者食事エプロン
	浴室用品	25枚×2回×¥500	¥25,000	バスタオル
		10枚×2回×¥3,000	¥60,000	タオルケット
		3回（6本入り）×¥8,500	¥25,500	リンスインシャンプー
		3回（6本入り）×¥9,500	¥28,500	全身シャンプー
		4回（3ヶ入り）×¥16,200	¥64,800	アクター（衣類洗剤）
		2回（1ヶ入り）×¥15,000	¥30,000	森の泉（入浴剤）
		3回×¥13,000	¥39,000	ボディー洗い（不織布）
		1回（6本入り）×¥590	¥3,590	シェービングフォーム
		6枚×¥3,500	¥21,000	滑り止めマット
雑費	その他	¥15,000×3台	¥45,000	サイドテーブル
		¥50,000×2台	¥100,000	個別テーブル
合 計			¥613,990	

※計上したものの以外の購入物品は注文何書、稟議書で管理課と協議の上、調整すること。

1-② 委員会係担当表

委員会

委員会名称	委員名	委員会名称	委員名
安全衛生委員会	☆ 稲 福 学 佐 藤 竜 子 (衛生管理者)	排泄検討委員会	☆ 稲 福 学 岸 川 和 史 松 苗 智 之
感染症対策委員会	☆ 久 保 田 安 子 齊 藤 紫 織 佐 藤 竜 子	リハビリ委員会	☆ 乗 松 あ や か 大 島 綾 華 石 森 義 和
防災委員会	☆ 白 石 啓 高 笠 原 誠 吾 湯 田 善 仁 加 藤 豊	ICT委員会	☆ 小 木 野 清 一 郎 石 森 義 和 加 藤 豊 西 澤 一 輝
リスク委員会	☆ 白 石 啓 高 齊 藤 紫 織 佐 藤 竜 子	食事サービス委員会	☆ 八 谷 美 穂 大 島 綾 華
虐待対策 身体拘束	☆ 久 保 田 安 子 白 石 啓 高 稲 福 学	広 報	☆ 寺 沢 麻 実 田 中 愛 海 松 苗 智 之

係

係名称	担当者	係名称	担当者
生活企画	☆ 笠 原 誠 吾 小 木 野 清 一 郎 田 中 愛 海 湯 田 善 仁 将田ブルギダパブリアガ 西 澤 一 輝	実習	☆ 久 保 田 安 子 齋 藤 紫 織
		ボランティア	☆ 久 保 田 安 子 齋 藤 紫 織
		物品	☆ 久 保 田 安 子 乗 松 あ や か 八 谷 美 穂
写真	☆ 寺 沢 麻 実 田 中 愛 海 松 苗 智 之	入浴	☆ 乗 松 あ や か 八 谷 美 穂
		ショートステイ	☆ 岸 川 和 史

レクリエーション・集団活動サービス担当

サービス名称	担当者	サービス名称	担当者
HME・GW	☆ リハビリ委員	リハビリ	☆ リハビリ委員

(2-①) 介護職員の勤務時間および勤務内容（宿直含む）

時間	利用者日課	早番A (7:15～16:15)	早番B (7:30～16:30)	日勤 (8:45～17:45)	遅番 (10:00～19:00)
6:30	起床				
	モーニングケア	【7:15出勤】			
7:00		朝食誘導・準備	【7:30出勤】食事介助		
7:30	朝食	食事介助			
8:00		食事後片付け			
8:30	排泄援助	排泄援助		【8:45出勤】	
		排泄物品処理		朝礼・申し送り モーニングスト レッチ	
		ガーグルベースン交換 (入浴衣類準備)			
10:00	ティータイム	・浴室準備 ・水分補給準備、介助		水分補給準備・介助	水分補給介助・整容
		ゴミ回収・温度湿度チェック			物品補充
	クラブ活動	(クラブ活動準備)		クラブ活動準備	クラブ活動補助
11:00	排泄援助	排泄援助		排泄援助 ・消毒液交換 ・利用者誘導	
		昼食準備(配・下膳)	利用者誘導		昼食準備(配・下膳)
11:30	昼食	休憩(11:00～12:00または11:15～12:15)		昼食介助(口腔ケア)	昼食介助
		4F早番11:00～12:00 日曜14:00～15:00		休憩(12:15～13:15)	休憩(①F遅12:15～13:15 ②2遅13:15～14:15)
		ガーグルベースン交換			
13:00	排泄援助	・排泄援助・口腔ケア		排泄援助	・利用者誘導
					・排泄援助・口腔ケア
13:15	入浴	入浴介助			
14:30	リハビリ活動	入浴または水分補給介助、浴後援助		水分補給介助	水分補給介助
15:00	ティータイム			浴後援助	浴後援助
15:30	排泄援助		排泄援助	排泄援助	排泄援助
		【16:15退勤】		排泄援助・記録	排泄援助・記録
17:00			【16:30退勤】	申し送り ・ 検食	夕食準備・誘導
17:30	夕食				食事介助
18:00	排泄援助			【17:45退勤】	排泄援助・イブニングケア
					食堂掃除 消毒液交換
					ガーグルベースン交換
18:30	イブニングケア				【19:00退勤】

※ 個別ケア提供はケアプランに基づく

時間	業務内容	2F夜勤 (16:30～9:30)	3F夜勤 (16:30～9:30)	4F夜勤 (17:00～10:00)	宿直者
16:30		【16:30出勤】	【16:30出勤】		
		夜勤諸準備	夜勤諸準備	【17:00出勤】	
17:00		申し受け	申し受け	申し受け	
17:30	夕食	食事介助	食事介助	食事介助	【17:45勤務開始】
18:00	排泄援助	2F業務	3F業務	2F、4F業務	始業前点検
18:30	イブニングケア				点検結果記録
20:00	就寝前薬内服	※就寝前薬は20時以降も、下剤のみの場合で利用者の希望がある場合はその限りでない			玄関扉施錠
	水分補給				苑内外巡回(20:30)
					避難者名簿各階配布
	その他	食堂、リハ室清掃・避難路確保、制服、ブロン洗濯・乾燥・物品補充、 冷蔵庫清掃、洗濯物など			点検結果記録
21:00	消灯・巡回	コール対応(夕食休憩)			消灯
	フロア情報交換	(21:00～21:30)	(21:00～21:30)	(21:00～21:30)	
22:00	排泄援助	2F業務	3F業務	4F業務	苑内外巡回(22:30)
		温度湿度チェック(夏期のみ1:30追加でチェック)			点検結果記録
	水分補給				
	体位交換	*各フロアー・トイレ消毒液交換(3階職員トイレ含む)			仮眠(23:30～)
0:00		休憩(11:00～12:30)	コール対応	コール対応	
1:00	(排泄援助)	2F業務	3F業務	4F業務	
	体位交換	コール対応	休憩(12:30～2:00)	コール対応	
3:30	巡回	コール対応	コール対応	休2:00～3:30)	
4:00	諸準備開始	2F業務	3F業務	4F業務	
4:30	排泄援助～				
	朝食他、起床				
	準備				玄関扉開錠(6:30)
6:30	モーニングケア	Pトイレ洗浄	Pトイレ洗浄	Pトイレ洗浄	検食(7:00)
7:30	朝食	食事介助	食事介助	食事介助	
	排泄援助	2F業務	3F業務	4F業務	
8:45	朝礼				朝礼
	申し送り	申し送り・記録	申し送り・記録	申し送り・記録	勤務終了(8:50)
9:30		【9:30退勤】	【9:30退勤】		
10:00				【10:00退勤】	

※ 夏季： 1:30湿度・温度チェック(熱帯夜対策)

※ 冬季： 加湿器水補給(湿度60%以上であれば一旦止め、以後60%以下になれば再開)

※ 申し送りは、基本的に各フロアーの夜勤者が行う。他、日曜日は臨機応変に対応。

※ 個別ケア(体位交換など)はケアプランに基づく。

(2-②) 利用者および職員の週課表

曜日	午 前		午 後	
	利用者	職員	利用者	職員
月	(体操、CPに準じた活動)	ナースコール・センサー点検	機械浴・介助浴	入浴介助
		リネン交換		
		テストール／介助バー点検清掃		
火	書道クラブ (月3回第1,2,3) (10:30～11:00)	リネン交換	機械浴・介助浴	入浴介助
	(体操、CPに準じた活動)		HME (14:30～15:30)	活動補助
水	桜田園児交流 (計画に準づる)	リネン交換	機械浴・介助浴	入浴介助
	(体操、CPに準じた活動)			
		テストール／介助バー点検清掃		
木	音楽クラブ (月2回第2・4) 10：00～11：00	リネン交換	機械浴・介助浴	入浴介助
	(体操、CPに準じた活動))			
金	(体操、CPに準じた活動)	リネン交換	機械浴・介助浴	入浴介助
		テストール／介助バー点検清掃		
土	(体操、CPに準じた活動)	リネン交換	機械浴・介助浴	入浴介助
		ホットボックス・清拭車清掃		
日	(体操、CPに準じた活動)	ベットメイク	エプロン洗濯、ガーグルベース交換毎食後実施)	
		コップ消毒	その他PTトイレ清掃・日課表参照	

※ 委員会別記参照

※ CPミーティング随時調整し開催日を決定する。

※ 介護課ミーティング随時調整し開催日を決定する。

※ フロアミーティングは係長が随時調整し開催日を決定する。

※ 爪切り・耳かきはフロアの計画に準ずる

(3) 行事スケジュール

＜3大行事＞ ※感染症を鑑みながら柔軟な計画を建てる。

月	行事名（月日）	内 容	参加者	実施関係部署
8月	納涼会	縁日の雰囲気の中で夕涼みがてら日本の風情を楽しむ。	家族・地域・Vr	介護課・相談支援課・管理課
			予算 ¥70,000	
9月	敬老会	利用者に対して畏敬の念を改めて認識すると共に利用者の長寿を願い厳粛なセレモニーの中にあっても、演芸やアトラクションなどの楽しみも取り入れる。 (右記：プレゼント・飾り含む)	家族	介護課・相談支援課・管理課
			予算 ¥150,000	
11月	王子光照苑祭	開かれた施設として地域住民に開放すると同時に、協力と理解を求めていく。利用者作品名などの展示物の内容を図り、その他体験コーナーや相談コーナーを設置する。また喫茶コーナーでは雰囲気づくりに努め、来客に楽しんでいただく。	家族・地域・Vr	介護課・相談支援課・管理課
			予算 ¥20,000	

＜季節行事＞

月	行事名（月日）	内 容	参加者	実施関係部署
4月	お花見 (開花時期に合わせる)	近隣の桜の名所をドライブにて巡り日本の春を満喫してもらう。また、屋上庭園の桜は順次見ていただき春の訪れを感じていただく。	家族・Vr	生活企画・相談支援課
			予算 ¥3,000	
5月	菖蒲湯	菖蒲湯につかり、無病息災を願う。	予算 ¥5,000	入浴係
	端午の節句 (時期に合わせる)	五月人形を飾り季節感を願う。	予算 ¥2,000	生活企画
7月	七夕 (時期に合わせる)	願いを込めた短冊を笹に飾り、夏の風情を味わう。	予算 ¥10,000	生活企画
	盆供養	故人先祖の霊を迎えると同時に、新盆のかたの供養を行う。13（土）迎え火・16（火）送り火	家族 予算 ¥20,000	生活企画
12月	クリスマス会	アットホームな雰囲気の中、ご家族との会食やクリスマスの雰囲気を楽しむ。（右記：プレゼント・飾り含む） (家族飲食負担:¥1,500)	家族 予算 ¥150,000	介護課・相談支援課・管理課
	柚子湯 (冬至に合わせる)	柚湯につかり、冬を元気に過ごせるよう願う。	予算 ¥5,000	入浴係
1月	光照苑神社初詣	光照苑神社に初参りし一年の幸せや健康を祈願する。	予算 ¥10,000	生活企画
	餅つき	お正月の伝承文化を楽しむ。 (鏡開きに合わせる)	予算 ¥2,000	生活企画

月	行事名（月日）	内 容	参加者	実施関係部署
2月	節分	2月3日,豆まきを行い、一年の無病息災を祈る。	予算 ¥5,000	生活企画
3月	雛祭り	お雛様を飾り、季節感を味わう。	予算 ¥3,000	生活企画

<個別行事>

月	行事名（月日）	内 容	参加者	実施関係部署
随時	個別外出	個々の希望に添った外出を利用者から費用を徴収し安全で楽しい外出を提供する。 （社会施設の活用・近隣行事参加・散歩等々）	家族・Vr 参加費有 予算 個別徴収	介護課・相談支援課・管理課

（４）アクティビティー活動（余暇活動・地域交流）

活動内容	
音楽	ボランティアの協力を得ながら、四季折々の歌を二胡の演奏と共に楽しんで頂く。
書道	書道の所作を楽しんで頂けるよう支援する。また、作品発表の機会を設ける。
交流	地域との繋がりを大切にしながら楽しみや喜びを持って参加できる活動を計画する。（園児との交流やサロン活動の参加など）
写真	①写真等をアルバムに収めたり、部屋に飾り、楽しい思い出として家族にも見て頂く。また、誕生カードの作成しお祝いする。 ②デジカメで撮影したデーターを広報委員会の行事フォルダーにコピー提供し、広報及び外部への情報発信の一翼を担う。

<各クラブ等の担当表>

クラブ名	活動日	特養担当者名
書道活動	月3回程度。	
音楽活動	月1回程度。	

<年度予算>

科目	摘要	積算内訳	予算額	備 考
教養娯楽費	書道活動	物品費 ¥30000	¥30,000	半紙、墨汁、展示用物品など
	音楽活動	物品費 ¥30000	¥30,000	楽器、歌集補修費等
合 計			¥60,000	

<年間計画>

月	書道活動	音楽活動（選曲コンセプトなど）	備考(行事など)
4	活動再開	春	
5		端午の節句	
6		梅雨	

月	書道活動		音楽活動（選曲コンセプトなど）		備考(行事など)
7	七夕短冊づくり		七夕、夏		七夕飾り
8			海		
9			秋		
10	光照苑祭用作品作り		秋		光照苑展示
11			秋・紅葉		
12			クリスマス、冬		
1	書き初め		正月、冬		
2			雪		
3			桃の節句		

(5) 写真係

年度目標

- (1) 季節ごとの写真撮影
- (2) 行事での写真撮影
- (3) 誕生日での写真撮影と誕生日カードの作成

実施計画

- (1) 誕生日カードの企画
- (2) 印刷した写真の配布とアルバムへファイリング
- (3) 写真ファルダの整理

＜今年度予算＞支出の部

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
印刷用紙	写真用紙L判×100枚	¥3,219	1073円×3個
誕生日、印刷用紙	写真用紙A4×60枚	¥1,857	619円×3個
アルバム代	アルバム一冊×60冊	¥6,600	110円×60冊

(6) 生活環境整備（生活企画係）

中長期計画

- ①光照苑神社参拝や節分などの行事を実施。
- ②加湿器の設置やフィルター交換と清掃。

年度目標

- (1) 季節や雰囲気を感じられるように、季節や月ごとの飾りつけを行う。

(2) 温度、室温チェック表を居室に貼り管理する。
(3) 利用者の余暇活動に、正月に書き初めや季節ごとの塗り絵などを実施する。
実施計画
(1) 生活企画の年間計画に沿って実施する。

＜年間計画＞

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
居室整備の管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
パブリックスペースの管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
床ぬれ対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
消臭対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
加湿器清掃	○						○	○	○	○	○	○	
ワックス清掃			○										
ベッド清掃			○					○					
カーテンクリーニング												○	
レジオネラ菌（浴槽）検査					○								
障子張り替え	※随時行うが、将来的には撤去。カーテンに変更の予定												随時

＜今年度の予算＞ 支出の部 《特養》

科目	項 目	積算内訳	金 額（消費税込み）
賃借料	カーテンリース	¥53622×12ヶ月	¥463,464
	カリスト(低床)電動ベッド	¥156276（年間）	¥156,276
	寝具一式	¥82×50床×365日	¥1,616,220
委託費	日常清掃委託費(共用)	¥110484×12ヶ月	¥1,325,808
	日常清掃委託費(居室)	¥113508×12ヶ月	¥1,362,096
	床面定期清掃(全館)	¥176040×2回	¥352,080
	ガラス清掃	¥16200×2回	¥32,400
	洗濯業務委託(衣類私物洗濯)	¥21500×12月	¥2,786,400
	障子張り替え		¥100,000
保健衛生費	害虫駆除		¥117,600
	レジオネラ菌(浴槽)検査		¥11,000
	ベッド・マット消毒清掃	¥16500×年2回	¥33,000
教養娯楽費			
	正月用鏡餅など		¥11,000
	その他の装飾		¥11,000

科目	項 目	積算内訳	金 額（消費税込み）
消耗器具 備品	PL-100S	¥8800×2個	¥19,008
	スプレー容器	¥110×30本	¥3,300
	スパットー03 500ml	¥1650×10ケース	¥16,500
	加湿器	9台×¥30000	¥270,000
	交換部品	10(3枚入り)×¥1650	¥16,500
合 計			¥8,703,652

3. 看護

中長期計画	①配置医との連携を密にし、効率的な医療体制が取れ継続的に医療・看護を提供する
	②その人らしく、意思の尊重のもと終の棲家としお見送りが出来る
年度目標	
(1) 多職種との連携をはかり特に介護職員の気づきに目を向け、入居者様の体調の変化に早期対応できる	
(2) 配置医・多職種・ご家族様との信頼関係を築き、情報の共有・可視化に努め入居者様のその人らしいお看取りができるよう支援する	
(3) 多職種の知識・技術を共有・協働し褥瘡「ゼロ」を心掛ける	
実施計画	
(1) 健康観察（バイタル測定・全身状態観察）や介護職員の入居者との関りから発見することに務める。配置医への報告を行い適切な医療の提供ができる	
(2) 体調の変化に目を向け、看取り指針のもと状況に合わせたカンファレンスを行い、有意義にその人らしく意思を尊重し最期を送ることが出来るよう多職種との連携を図る	
(3) 褥瘡予防を図るために、褥瘡委員会の開催・排泄委員会への参加をし情報を深め、必要に応じ助言や指導をおこなう	
(4) 感染症シュミレーション研修（2回/年）実施し統一した初動対応ができる	

＜今年度予算＞（支出の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
抗原検査キット	インフルエンザ・コロナ抗原検査キット各3	¥300,000	
軟膏・衛生材料・検査器具	オロナイン・プロペロ・絆創膏など	¥200,000	共用物品
バイタル測定器・文具などの器機	血圧計・体温計・SAT計・ステートなど	¥200,000	感染症時の居室セッティング
合 計		¥700,000	

4. リハビリテーション（個別機能訓練）

中長期計画	①利用者様にあった機能訓練を行い身体機能の維持に努めると共に、リスク管理と環境整備をすることで事故を予防して、利用者様に安心できる生活を提供する。
-------	---

年度目標	
(1)	関節拘縮の予防、緩和と身体機能の維持、向上により、楽しんで生活をして頂く。
(2)	シーティング介助技術の向上により生活の質の向上を図る。
実施計画	
(1)	機能訓練指導員による個人訓練以外に、介護職員による生活リハビリの継続で利用者の拘縮進行予防や身体機能の維持・向上に努める。
(2)	シーティングの専門家を招聘して技術の向上を図ることで、利用者の①座る能力の維持し②生活を支え③健康を守っていく。それにより、誤嚥防止、長時間の座位が可能になることで、生活の質の向上を図る。

〈今年度予算〉（支出の部）

科 目		積 算 内 訳	予 算 額	備 考
固定資産備品費	車椅子(標準型)	¥150,000×3台	¥450,000	
	車椅子(リク型)	¥200,000×3台	¥600,000	
	車椅子用除圧クッション	¥50,000×6枚	¥300,000	
	アーム・フットサポートクッション	¥10,000×6枚	¥60,000	
体交用クッション		¥10000×10個	¥100,000	
診察台		¥132000×1	¥132,000	
講師料		¥66000×12	¥792,000	
消耗器具備品費支出		角度計、メジャー、クッションカバー、他備品	¥20,000	
合 計			¥2,454,000	

5. 栄養（食事サービス・栄養ケアマネジメント・委託調理）

中長期計画	①誤嚥や窒息リスクの低減など安全な食事提供により、健康被害を未然に防ぐ。
	②利用者の満足度向上の為個々のニーズに応じた食事提供で、食事を楽しむ機会を増やす。
	③業務の効率化の為のツールや多職種連携を活用し、効率的に食事形態を管理
年度目標	
(1)	リスクマネジメントの充実
(2)	利用者へ提供する食事品質の安定化
(3)	利用者食事サービスの向上
(4)	利用者健康状態の維持または向上

実施計画	
(1)	全職員（調理スタッフ、介護職員、看護師）を対象に、誤嚥予防の知識と技術に関する研修を年2回程実施。
(2)	品質確認のための定期チェックとして週2回、管理栄養士が提供食事の味、温度、見た目の確認を行い、改善が必要な点を共有。 設備のメンテナンスとして調理機器（スチームコンベクション、トロミ調整用ミキサーなど）の定期点検を実施。
(3)	毎月1回以上の行事食を企画。利用者の嗜好を取り入れたアンケートを実施し、メニューに反映。介護職員と連携し、食事時の利用者の反応を記録し共有。特に好まれる食品や食事形態を定期的に見直し。
(4)	3か月に1回、MNAを用いたGLIM基準に基づいた評価ツール等を活用して全利用者をスクリーニング。また栄養状態が悪化傾向にある利用者に早期介入。

<活動計画>

月	管理運営計画			利用者懇談会栄養指導
4	食事摂取基準及び食料構成の作成、温度計校正	お花見弁当	堀船DS食事懇談会(月)	
5		端午の節句	王子DS食事懇談会(月)	
6	害虫駆除(厨房)・栄養報告書作成	イベント食	堀船DS食事懇談会(火)	
7	食器棚卸し	七夕の節句	王子DS食事懇談会(火)	
8		納涼夏祭り	堀船DS食事懇談会(水)	
9	害虫駆除(全館)	敬老会	王子DS食事懇談会(水)	
10	温度計校正	秋の献立(秋刀魚等)	堀船DS食事懇談会(木)	
11		王子光照苑祭	王子DS食事懇談会(木)	
12	害虫駆除(厨房)・栄養報告書作成	クリスマス会	堀船DS食事懇談会(金)	
1	食器棚卸し・事業計画作成	正月	王子DS食事懇談会(金)	
2		節分	堀船DS食事懇談会(土)	
3	害虫駆除(全館)	桃の節句	王子DS食事懇談会(土)	
毎月	食事サービス委員会			

<今年度予算> (収入の部)

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
介護保険事業収入	11単位/日×12か月×50人 (1単位¥10)	¥2,007,500	栄養ケアマネジメント強化加算
食費	第2段階 : ¥11,700×12か月×人数×0.97 第3①段階 : ¥19,500×12か月×人数×0.97 第3②段階 : ¥40,800×12か月×人数×0.97 第4段階 : ¥51,000×12か月×人数×0.97	¥20,679,624	特養利用者
食費	¥1,700×365日×2人×0.95	¥1,178,950	SS利用者
食費	一般型 : ¥628×310日×25人×0.75 認知型 : ¥628×295日×12人×0.75	¥1,667,340	デイサービス利用者
合 計		¥25,533,414	

＜今年度予算＞（支出の部）

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
消耗器具・備品	食器類 調理用具備品	食器類一式、感染症対策用ディスポ食器、ミキサー・フードプロセッサー替刃および容器、食札ケース、洗剤・除菌剤、献立作成および栄養管理資料・書籍等	¥300,000	スチコン塩(45,870×2回/年)・ミキサー部品・介助用食器・行事用食器・その他消耗した食器(ディスポ食器1ヶ月¥360,720)※180人/1ヶ月
食品	備蓄食品	利用者非常食・職員用非常食		昨年度に5年保存可能な非常食品を一括購入済。次回令和12年7月購入予定 また本年度は賞味期限管理に基づく一部更新および不足分の補充を計上
修繕費	厨房設備什器 修繕・購入	温冷配膳車、スチームコンベクションオープン、冷蔵庫・冷凍庫、食器洗浄機、食器消毒保管庫、炊飯器、フードプロセッサー、ミキサー等の修理・部品交換	¥2,500,000	ミキサー修理(60,104円/回想定)、食器消毒保管庫(40,689円/回想定)、食器洗浄機修繕(17,018円)、その他厨房機器突発故障対応、保守メンテナンス費(53,460円/年想定) 新規機器購入費(温冷配膳車、食器洗浄機等)含む ※配膳車リース費(89,760円/月)は別途計上の場合は調整要 ※食器洗浄機リース日
		換気扇・ダクト清掃および交換。排水管詰まり・水漏れ修理。給湯設備・配管修繕。ステンレス作業台補修。蛇口交換。エアコン洗浄・ガス補充・故障修理		厨房用給湯器(102,388円/回想定) 水道管修理(67,650円/回想定) ※他修繕費含む
合 計			¥2,800,000	

6. 施設サービス部専門委員会

(1) 安全対策委員会（痰吸引・胃ろう等に関連する業務）

中長期計画	①喀痰吸引可能な職員を増やし、正職員は全員喀痰吸引の資格を有するようにする
年度目標	
(1) 安全対策委員会の充実を図る。リスクマネジメント委員会と合同開催とし、情報共有を図る。	
実施計画	
(1) 喀痰吸引のフォローアップ研修を今年度も実施計画していく。	

＜今年度予算＞

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	東京都福祉保健財団 喀痰吸引実地研修	¥2,000	
研修費	口腔内吸引(10回以上) 27,500円 鼻腔内吸引(20回以上) 27,500円 実施研修費：33,000円 ×1名分	¥88,000	
合 計		¥90,000	

(2) 生産性向上委員会	
年度目標	
(1)	ほのぼのの入力チェックを行い入力ミスを防ぐ。
(2)	ペーパーレス化に向け、排泄記録など記録の省略化に取り組む。
(3)	見守りカメラやベッド、座面センサーを使用方法を理解し共有する。
(4)	介護機器展示会や勉強会など、必要に応じて参加していく。
実施計画	
(1)	記録パトロールの実施による記録の適正化。
(2)	センサー類の管理とセンサー有無の可視化。
(3)	マニュアル、手順書の見直し。
(4)	センサー類の適切な使用方法の周知。
(5)	新人職員の研修。

＜今年度予算＞支出の部

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	ICT研修	¥10,000	東社協主催研修など

(3) 排泄委員会	
年度目標	
(1)	尿路感染症の防止における知識啓発又は陰部洗浄の手技やスキンケアについての研修計画（光洋との協働実地研修を計画する。）
(2)	排泄は次年度の介護報酬では間違いなく自立支援が大きなキーワードとなることも踏まえて、排泄委員メンバー中心に排泄ケアにおける知識など学ぶ機会を設けて、職員への啓発を行っていく。
(3)	引き続き交換パターン及びパッド類選定の適正化
実施計画	
(1)	会議：3ヶ月1回程度
(2)	排泄研修企画
(3)	新人職員への指導教育システムの構築
(4)	排泄表の作成（パターン表の更新・見直し）
(5)	適正なオムツ物品等の発注
(6)	オムツ交換技術の啓発及び指導など

(7) 排泄委員会指針、排泄マニュアルの更新

＜今年度予算＞支出の部

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
日用品	排泄物品	テープ止め Sサイズ		
		テープ止め Mサイズ		
		テープ止め Lサイズ		
		リハパン Mサイズ		
		リハパン Lサイズ		
		パッド レギュラー		
		パッド ロング		
		パッド Sロング		
		パッド貼り付けタイプ		
		スリムフラット		
		モイストバランス（しっとりふきとり）		
合 計			¥0	

(4) リスク委員会

年度目標
(1) 事故分析は、目に見えやすい直接要因だけでなく、背景要因までチームで掘り下げ再発の防止に努める
(2) 事故分析に留まらず、利用者の生活全体をアセスメントしケアにつなげていく
実施計画
(1) 毎月会議を開催し、事故・ヒヤリハット分析を行う
(2) 当月の事故・ヒヤリハットだけでなく、直近3ヶ月の集計を基に心身状態に変化がないか分析を行い、関係部署と情報を共有しケアに反映させる
(3) 家族との連携を深め、生活上のリスクを理解、共有していただけるよう丁寧に説明していく

＜今年度予算＞支出の部

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
備品費	備品購入	機器関連	¥30,000	リスク関連用品等
研修費	研修	外部研修10,000円×2回	¥20,000	東社協主催研修など
合 計			¥50,000	

(5) 褥瘡予防委員会	
中長期計画	①褥瘡形成のある方又はその状況に限りなく近い剥離又は発赤などがる方、またはリスクの高い利用者の各部署と協働しながら計画作成を行ない、その防止に努める。またその防止を図ることで褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）→（Ⅱ）の算定を利用者比率80%の取得を目指す。
年度目標	
(1) 褥瘡形成のある方又はその状況に限りなく近い剥離又は発赤などがる方、またはリスクの高い利用者の各部署と協働しながら計画作成を行ない、その防止に努める。またその防止を図ることで褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）→（Ⅱ）の算定を利用者比率80%の取得を目指す。	
実施計画	
(1) 会議：月1回（第4週金9:10～）	
(2) 褥瘡予防学会やアルキメディア等の褥瘡専門学会における情報収集に努めて、新しいスケールや予防策についてスキルアップを図る。	
(3) 褥瘡防止に関連した物品など適正かつ適切な量を購入準備しておく	
(4) 職員への開発活動（研修）を年1回は実施する。	

＜今年度予算＞支出の部

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
介護用品	クッション	アウルクッション40レザー（リビルド）10,000円	¥10,000	
	クッション	アウルクッションREHAレギュラー（リビルド）13,000円	¥13,000	
	クッション	シーボス（リビルド）12,000円	¥12,000	
	クッション	バスポジェルクッション（リビルド）10,000円	¥10,000	
	クッション	ジェルترونクッションSサイズハード 8,500円	¥8,500	
	クッション	3D通気クッション（リビルド）7,000円	¥7,000	
合 計			¥60,500	

7. 家族懇談会

年度目標	
(1) 情報の開示と共有を実施することで、施設運営の透明性の確保を図る。また家族からの意見や要望の吸い上げをし、双方向のコミュニケーションを図ることで、信頼関係を構築していく	
実施計画	
(1) 少なくとも年1回以上の定期開催を実施していく。	
(2) 介護報酬関連の最新情報や、利用者の日常生活等の定期報告を行う。また施設と家族はもちろんのこと、家族間同士のコミュニケーションや情報交換等も図る。	

VII. 短期入所生活介護事業

中長期計画	①地域貢献を念頭に、介護者等の介護負担軽減や緊急時案件（虐待や保護等）、緊急生活支援事業等、短期入所生活介護事業（以下、ショートステイと称す）の役割を適切に果たし、かつ安定した稼働率を保つ。また、リピーターの利用者や居宅介護支援事業所のCM等との関係も深め、より良いチームケアに繋がっていきけるよう図る。新規利用者の積極的受入れについても継続的に行い、リピーターになっていただけるよう、質の高いケアサービス提供を実施する
年度目標	
(1) 全国平均（74.4%）を上回る、安定した稼働率75%以上を目標とする	
(2) 王子光照苑包括、豊島包括等の困難事例や緊急ショートステイの受け入れを可能な限り行う。また、現在利用している方のサービス担当者会議において、ショートステイ利用時の様子をお伝えするなど、きめ細やかなフォローアップを実践していく（参加できない場合は、照会という形で情報提供を行う）	
実施計画	
(1) 感染防御のために、入所前の検温をはじめとした健康確認（状況に応じて抗原検査も適宜実施）は継続的に実施していく	
(2) 居宅介護支援事業所との更なる連携強化および信頼関係の構築を図る為に、担当CMにショートステイ利用時の様子等、必要に応じて適宜電話連絡する。また利用時に事故等があった場合には、速やかに家族や担当CM等に連絡し、事故後の対応・対策なども含めて、適切に報告する。	

＜今年度予算＞（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
居宅介護料収入	新たな基本報酬を元に1日分の合算額を算定し、令和8年1月末の平均要介護度（3.0）に応じた人数を乗じて年間100%となった場合の金額を算定し、それに75%を乗じた。	¥3,959,935	介護報酬 （処遇改善加算を除いた額）
居宅介護料収入	全体の目標額の1割を算定	¥439,992	利用者自己負担金
居宅介護料収入	処遇改善加算Ⅰで算定	¥270,465	介護職員等処遇改善加算
利用者等利用料収入	$(1700円 \times 2) \times 75\% \times 365$	¥930,750	食費
	$(855円 \times 2) \times 75\% \times 365$	¥468,112	居住費
収入合計		¥6,069,254	

VIII. 居宅介護支援事業

中長期計画	①第8期北区介護保険事業計画に基づいた居宅介護支援事業を実施する。
年度目標	
(1)	第8期介護保険事業計画の運営を把握しながら、適正な収入（適正な利用者数）の確保に努める。また、第9期介護保険事業計画作成の動向を注視する。
(2)	増加傾向にある単身・老々介護などの利用者にきめ細やかな対応を図る。
(3)	危機管理の体制を他のサービス部門と協力し、整備・強化していく。
実施計画	
(1)	地域包括支援センター、介護サービス事業所、他の居宅介護支援事業所などと連携し、適切な事業の提供を行うとともに、きめ細やかな対応を行う。
(2)	研修等に積極的に参加し、情報の把握、連携の充実による利用者支援の向上を図る。

＜今年度予算＞（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
居宅介護支援介護料収入	¥12,264×240人	¥2,943,360	
	¥15,937×150人	¥2,390,550	
合 計		¥5,333,910	

＜今年度予算＞（支出の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	50,000	¥50,000	
雑支出	20,000	¥20,000	防災、感染症対策物品
合 計		¥70,000	

IX. 通所介護事業及び 総合支援事業通所介護サービス

1. 高齢者在宅サービスセンター王子光照苑

中長期計画	①高齢者在宅サービスセンター王子光照苑の特色の明確化と重度利用者受け入れのため、職員個々の介護力の向上
	②通所介護計画に基づいたPDCAサイクル循環を構築し、化学的介護の提供を行う
	③定期的な栄養状態の確認と各セクションとの情報共有（ケアマネジャー含む）を確実なものとし、在宅での生活継続支援を強化する
	④施設設備改修費用を確保するため、利用率の維持、向上に努め、収入の安定化を図る
年度目標	
(1)	質の高い人材育成定着を図るため。職員の業務体制の見直しを行う。利用率向上に向けて、受け入れ体制を整える。
(2)	高品質介護サービスの実現。他部署との連携を強化し、利用者の情報共有を行い、包括的な利用者支援を行う。
(3)	地域から選ばれるデイサービスを目指して：困難事例者、医療ニーズの高い利用者の受け入れを行う体制を整える。感染拡大予防に努め統一した方法で、利用者が安全に利用できる環境を整備するためBCPを活用し、更新していく。
実施計画	
相談	① 家族・居宅介護支援事業所・北区あんしんセンターとの連携を図り、利用者を在宅にて支えるよう受け入れ調整を行う。
	② 65%を目指し、毎月空き情報を事業所へPRする。
	③ ホームページを定期的に更新し、情報発信する。ケアプランデータ連携システムを導入し対応できるようにする。
介護	① レクリエーション提供時間以外の待機時間を利用者が楽しめる時間となるように個別プログラムを個々に合わせて準備する。
	② 利用者からの意見を聞く食事懇談会・利用者懇談会の記録用紙を新しく作成し、活用していく。
	③ 担当利用者の計画・評価を適正に行い、計画に沿って援助出来ているかどうか、モニタリング記録に残し、担当職員としての自覚を持つ。
看護	① 感染症予防対策として、手洗い、消毒、換気、湿度チェックの徹底を図り、安心できるサービスの提供をおこなう。
	② 医療ケア依頼に対応し在宅生活を継続していけるよう支援にあたる。
	③ 医療ケア依頼に対応し在宅生活を継続していけるよう援助する。重度利用者の退院前カンファレンスへの出席や、在宅医療との連携を図り家族にも安心して過ごせる場所の提供に努める。

＜今年度予算＞（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
居宅介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥38,390,160	介護報酬
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥1,586,473	入浴加算
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥1,174,600	サービス提供加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥366,240	科学的介護推進体制加算
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥4,747,770	介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護予防 日常生活支援 総合事業収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.95	¥2,066,395	予防居宅介護報酬
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.95	¥141,689	サービス提供加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.95	¥264,969	介護職員処遇改善加算Ⅰ
居宅介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.1×0.7	¥5,099,890	自己負担金
介護予防 日常生活支援 総合事業利用料収入	基本単位×延人数×単価×0.1×0.95	¥274,784	自己負担金
利用者利用料収入	延べ人数×¥628	¥3,710,852	利用者食事負担
	延べ人数×¥100	¥0	クラブ活動費
合 計		¥57,823,822	

2. 堀船高齢者在宅サービスセンター

中長期計画	①堀船高齢者在宅サービスセンターの特色の明確化と重度利用者受け入れのため、職員個々の介護力の向上
	②利用者の生活行為向上のためのプロセスの共有と職種間の役割の明確化
	③定期的な栄養状態の確認と各セクションとの情報共有体制を確実なものとし、在宅での生活継続支援を強化する
年度目標	
(1) 質の高い人材育成定着を図るため、職場環境の改善を行う	
(2) 高品質介護サービスの実現。感染症拡大予防に努め、統一した消毒方法で、利用者が安全に利用できる環境を整備する	
実施計画	
相談	① 家族・居宅介護支援事業所・北区あんしんセンターとの連携を図り、利用者を在宅にて支えるよう受け入れ調整を行う。
	② 65%を目指し、毎月空き情報を事業所へPRする。
	③ ホームページを定期的に更新し、情報発信する。ケアプランデータ連携システムを導入し対応できるようにする。
介護	① レクリエーション提供時間以外の待機時間を利用者が楽しめる時間となるように個別プログラムを個々に合わせて準備する。
	② 利用者からの意見を聞く食事懇談会・利用者懇談会の記録用紙を新しく作成し、活用していく。

介護	③ 担当利用者の計画・評価を適正に行い、計画に沿って援助出来ているかどうか、モニタリング記録に残し、担当職員としての自覚を持つ。
看護	① 感染症予防対策として、手洗い、消毒、換気、湿度チェックの徹底を図り、安心できるサービスの提供をおこなう。
	② 医療ケア依頼に対応し在宅生活を継続していけるよう援助する。重度利用者の退院前カンファレンスへの出席や、在宅医療との連携を図り家族にも安心して過ごせる場所の提供に努める。
	③ 保健だよりを年4回発行し、情報発信する。

＜今年度予算＞（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
居宅介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥30,455,781	介護報酬
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥1,360,320	入浴加算
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥1,142,839	サービス提供加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥3,403,931	介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護予防 日常生活支援 総合事業収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥1,190,437	予防居宅介護報酬
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥22,445	サービス提供加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥125,791	介護職員処遇改善加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.65	¥5,101	入浴加算
居宅介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.1×0.65	¥5,134,319	自己負担金
介護予防 日常生活支援 総合事業利用料収入	基本単位×延人数×単価×0.1×0.65	¥149,308	自己負担金
利用者利用料収入	延べ人数×¥628	¥2,701,656	利用者食事負担
	延べ人数×¥100	¥0	クラブ活動費
合 計		¥45,691,928	

※計上したものの以外の購入物品は注文何書、稟議書で管理課と協議の上、調整すること。

3. 行事年間予定

※紙面の都合上略号使用 光＝王子光照苑DSC、堀＝堀船DSC

	行事名	内 容	目 的	担当
4月	お花見 光・堀 随時	音無川へのドライブ 苑庭	季節感を味わう	
5月	光＝希望者外出 堀＝認知型バラ見学	季節の花を見る	外出の喜びを感じる	
5月	堀＝希望者外出	アンケートを取り、一人一回希望の場所へ外出する	外出の喜びを感じる	
6月	光＝お楽しみ会 光＝19（金）20（土）	利用者が日頃行っているものや歌など発表する機会を作る	発表の場を設け、達成感や喜びを感じてもらう	

	行事名	内 容	目 的	担当
6月	堀＝希望者外出	アンケートを取り、一人一回希望の場所へ外出する	外出の喜びを感じる	
7月	七夕会 6（月）7（火）	光＝職員による縁日 堀＝ゲーム	昔日の情緒を味わう	
8月	納涼祭 光＝5（水）6（木） 堀＝1（土）3（月）	光＝よさこい桜舞 堀＝職員による縁日	夏の風物詩の雰囲気を楽しむ 堀船は創立記念を兼ねて行う	
9月	敬老会 18（金）19（土）	光＝未定 堀＝未定	長寿を祝い楽しい一時を過ごす	
10月	光＝文化祭・堀＝運動会	光＝作品展示	発表の場を設け、他者との交流を図る	
11月	光照苑祭 15（日）	光・町会作品展示	地域にアピールの場にする	
12月	クリスマス会 光堀＝24（木）・25（金）	光＝未定 堀＝未定	クリスマスの雰囲気を楽しんでもらい年の瀬の一時を過ごす	
1月	初詣	王子神社	昔からの習慣を大切に健康長寿を願う	
2月	豆まき 2（火）3（水）		昔からの習慣を大切に無病息災を願う	
3月		光＝マジックショー 堀＝ゲーム	昔からの風習を大切にする	

※誕生日が利用日と重なれば当日、重ならない際は、誕生日の前の利用日に設定。

※前月になってしまう場合は本人に確認をとって設定。利用者と共にお祝いし、カードを渡す。

※カードについては各施設で手作りとし、デジカメを活用し写真を撮る。

※外出行事については参加を希望するかアンケートを取り実施していく。

※希望地別バスハイクについては職員運転のため、近隣に限定し対応する。また家族参加可能とする。（実施可能な場合）

※行事以外にも、おもと会、バイオリン、コーラス、フラダンスなどを取り入れ、行事設定曜日の均等化を図る。

※出演ボランティアには前年度に日程連絡済、近くなったら担当より連絡。

※認知症対応型の利用者へ年度末に表情の良かった写真をプレゼントする。

※100歳の利用者には3000円の花束と写真付きカードでお祝いする。101歳以降については1000円の花束とカードでお祝いをする。100歳以上の誕生会には苑長の参加もお願いする。

＜行事予算＞

科 目	内 容	予算額	備 考
教養娯楽費	お楽しみ会・七夕会・納涼会	15,000	6月・7月・8月
	堀船祭（※開催される場合）	100,000	10月
	敬老会（1名700円）	¥60,000	9月
	光照苑祭	100,000	11月
	クリスマス会（1名500円）	¥45,000	12月
教養娯楽費	豆まき・ひな祭会	¥6,000	2月・3月
	光＝認知型クッキング（※実施される場合）		
	喫茶の日	¥18,000	
	ボランティア交流費	¥10,000	
	園芸代	¥25,000	（花・土代を含む）
	写真代	¥15,000	
	販促品	¥230,000	カレンダー120000円・物品100000円

＜情報発信計画＞

4月	嚥下・口腔トラブル	8月	夏の皮膚トラブル	12月	冬の暮らし （ヒートショック、湿度、血圧）
（月）		（金）		（水）	
5月	食中毒	9月	爪の仕組み	1月	胃腸炎
（火）		（土）		（木）	
6月	夏の暮らし （室温、脱水）	10月	肺炎	2月	冬の皮膚（乾燥）
（水）		（月）		（金）	
7月	脱水 （水分補給）	11月	インフルエンザ	3月	浮腫みについて
（木）		（火）		（土）	

※各施設において、利用者の要望等を聞き、その都度対応していく。

4. クッキング

	王子光照苑（認知型）	堀船	（一般型）	（認知型）
4月	実施未定	実施未定	月曜日	プログラムに沿い
5月	実施未定	実施未定	火曜日	
6月	実施未定	実施未定	水曜日	
7月	実施未定	実施未定	木曜日	
8月	実施未定	実施未定	金曜日	

	王子光照苑（認知型）	堀船	（一般型）	（認知型）
9月	実施未定	実施未定	土曜日	プログラムに沿い
10月	実施未定	実施未定	月曜日	
11月	実施未定	実施未定	火曜日	
12月	実施未定	実施未定	水曜日	
1月	実施未定	実施未定	木曜日	
2月	実施未定	実施未定	金曜日	
3月	実施未定	実施未定	土曜日	

※クッキング材料は、堀船においては厨房に準備してもらう。王子光照苑は職員で購入する。

※王子光照苑＝クッキング＝奇数月、 演芸＝偶数月に行う。

5. アクティビティ活動

	書道	七宝焼	生け花	皮細工	音楽クラブ	カラオケ・トーン チャイム（光の み）
感染症等流行状況に基づき、今後の計画を行う。						

X. 認知症対応型通所介護事業

1. 高齢者在宅サービスセンター王子光照苑

中長期計画	①在宅生活の安定した継続支援の確立とサービス提供の差別化（個別化）。事業所が培ってきたノウハウや利用することでのメリットを発信し、地域の方々に認知され、安心や信頼感を与える事業所となる。
	②施設設備改修費用を確保するため、利用率の維持、向上に努め、収入の安定化を図る
年度目標	
(1)	介護報酬の確保：地域から選ばれるデイサービスを目指して：認知症対応型の利用率目標70%とし、達成を目指す。
(2)	地域から選ばれるデイサービスを目指して：一般型、認知型の相違を明確にし、認知型の特色をアピールできるプログラム内容を構築する。感染拡大予防に努め、統一した方法で、利用者が安全に利用できる環境を整備するため、また災害対策のためBCPの活用、更新を行う。
実施計画	
相談	① 家族・居宅介護支援事業所・北区あんしんセンターとの連携を図り、利用者を在宅にて支えるよう受け入れ調整を行う。
	② 75%を目指し、毎月空き情報を事業所へPRする。
	③ LIFEへの利用者情報提供を行い、要介護度の改善に向け活用する

介護	① 短時間での外気浴を実施し、一般型との相違を明確にする。
	② ティータイムに数種類の飲み物を準備し、選択できるようにすることで、楽しい時間を過ごしていただけるよう支援を行う。
	③ 特色のある活動として、デイルームでの園芸を充実させ、成長を楽しんでもらい、表情の良い写真をプレゼントすることで、家族との会話を増やすことにつなげていく。
看護	① 感染症予防対策として、手洗い、消毒、換気、湿度チェックの徹底を図り、安心できるサービスの提供をおこなう。
	② 医療ケア依頼に対応し、在宅生活を継続していけるよう援助する。
	③ 重度利用者への対応においては、退院前カンファレンスへの出席や、在宅医療との連携を図り家族にも安心して過ごせる場所の提供に努める。

＜今年度予算＞（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
地域密着型介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥24,529,263	介護報酬
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥819,579	入浴加算
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥540,922	サービス提供加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥2,607,299	介護職員処遇改善加算Ⅰ
地域密着型介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥540,922	科学的介護加算
介護負担金収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.7	¥3,226,440	自己負担金
利用者等利用料収入	延人数×628	¥1,288,028	利用者食事負担
	延人数×100	¥0	レクリエーション費
合 計		¥33,552,453	

2. 堀船高齢者在宅サービスセンター

中長期計画	①在宅生活の安定した継続支援の確立とサービス提供の差別化（個別化）
	②事業所が培ってきたノウハウや利用することでのメリットを発信し、地域の方々に認知され、安心や信頼感を与える事業所となる
年度目標	
(1)	介護報酬の確保：地域から選ばれるデイサービスを目指して：認知症対応型の利用率を75%とし、達成を目指す
(2)	地域から選ばれるデイサービスを目指して：一般型、認知型の相違を明確にし、認知型の特色をアピールできるプログラム内容を構築する。災害訓練の実施。
実施計画	
相談	① 家族・居宅介護支援事業所・北区あんしんセンターとの連携を図り、利用者を在宅にて支えるよう受け入れ調整を行う。
	② 75%を目指し、毎月空き情報を事業所へPRする。
	③ ホームページを定期的に更新し、情報発信する。地域の祭りに寄付をし交流を図れるようにしていく。

介護	① 個別で外出や近隣散歩を行い、季節感を味わってもらい、表情の良い写真をとる。一般型との相違を明確にし、季節ごとに写真のプレゼントをする。
	② ティータイムに数種類の飲み物を準備し、選択できるようにすることで、楽しい時間を過ごしていただけるよう支援を行う。
	③ 担当利用者の計画・評価を適正に行い、計画に沿って援助出来ているかどうか、モニタリング記録に残し、担当職員としての自覚を持つ。
看護	① 感染症予防対策として、手洗い、消毒、換気、湿度チェックの徹底を図り、安心できるサービスの提供をおこなう。
	② 医療ケア依頼に対応し、在宅生活を継続していけるよう援助する。
	③ 重度利用者への対応においては、退院前カンファレンスへの出席や、在宅医療との連携を図り家族にも安心して過ごせる場所の提供に努める。

＜今年度予算＞（収入の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
地域密着型介護料収入	基本単位×延人数×単価×0.9×0.75	¥30,857,819	介護報酬
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.75	¥1,030,968	入浴加算
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.75	¥819,779	サービス提供加算Ⅰ
	基本単位×延人数×単価×0.9×0.75	¥6,713,063	介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護負担金収入	基本単位×延人数×単価×0.1×0.75	¥4,646,181	自己負担金
利用者等利用料収入	延人数×628	¥1,261,024	利用者食事負担
	延人数×100	¥0	レクリエーション費
合 計		¥45,328,834	

※計上したものの以外の購入物品は注文図書、稟議書で管理課と協議の上、調整すること。

XI. 地域包括支援センター事業

基本理念	みんなで支え安心してらせる地域づくり
基本方針	北区版地域包括ケアシステムの深化 ～地域共生社会の実現に向けて～
中長期目標	①住民が支え、支えられるようなおたがいさまな関係づくりの支援
	②高齢者が社会参加できる生きがいつくりの支援と健康寿命の延伸
	③介護サービス事業者・地域の関係機関などとのネットワークの構築
	④安心して在宅生活を送るための体制の構築
実施計画	
(1) 高齢者のための総合相談窓口の実施	
(2) 要支援者へのケアマネジメント業務・介護予防の取り組み	
(3) 関係機関とのネットワークづくり、ケアマネジャー支援	
(4) 地域の課題把握および課題解決のため活動	
(5) 権利を守るための取り組み	
(6) 医療と介護の連携や協働	
(7) 認知症の人へのサポートや認知症を理解する地域づくり	
(8) 暮らしやすい地域づくり・つながりづくり	

1. 王子光照苑地域包括支援センター（高齢者あんしんセンター）事業

年度目標	
目標とする地域像	いきがいや役割を実感しながら暮らせる地域 ～つながり 支えあう 広げよう 地域の輪～
(1) 住民がおたがいに支え合える関係づくりの支援	
(2) 高齢者が社会参加できる生きがいつくりの支援	
(3) 地域の関係機関などとのネットワークの構築	
(4) 安心して在宅生活を送るための地域体制の構築	
実施計画	
(1) センターにて総合相談窓口を常時開設するとともにUR王子5丁目団地にて毎週月曜日に出張窓口を開設。また、その他地域で必要に応じて出張窓口を開設。	

(2)	日常生活総合事業および介護予防におけるケアマネジメントや委託先の居宅介護支援事業所への支援。介護予防の基盤づくり。介護予防で元気はつらつサロン（年2回）。自主グループ等地域での活動者への支援。
(3)	地域のケアマネジャーへの支援や研修等実施。町会自治会、民生委員、行政など関係機関・団体とのネットワークづくりの実施。地域ネットワーク通信の発行。
(4)	地域課題を話し合う地域ケア個別会議（年2回）・介護予防のための地域ケア個別会議・地域包括ケア連絡会・おたがいさまネットワーク連絡会・UR王子5丁目団地連携会議・光ネットワークの会等を開催。光豊誌の発行。
(5)	虐待防止や虐待への迅速な対応や支援。成年後見制度などへの適切な支援や情報提供。様々な機関と連絡調整しながら困難ケース対応。
(6)	医療と介護の連携。在宅療養生活を支援するための連携の在り方や情報共有・研修。サポート医事業の活用。災害時要援護者避難計画の作成・支援の検討、訓練実施。
(7)	認知症の人を見守り、ともに暮らせる地域づくりとして、認知症サポーター養成講座（企業向け・地域住民向け）やステップアップ講座、交流会。オレンジカフェきたい～な（月1回）、家族介護者教室（年2回）や初期集中支援チーム事業、認知症地域支援・多職種協働事業も実施。
(8)	地域住民がいきがいや役割を実感でき、住民同士がつながり支え合う仕組みづくり。ふれあい交流サロンの開設、地域での居場所づくり支援や居場所紹介。活動の場づくりや活動発表や紹介。小学校・保育園等と高齢者との交流。

＜ふれあい交流サロン等＞

活動名	活動日	活動時間	活動場所
趣味サロン活動紹介発表会	令和8年4月21日	14:00～16:00	北とぴあ
ミュージックサロン	第1水曜日	13:30～14:30	王子5丁目UR集会所
お習字サロン	第1水曜日/第1金曜日	14:30～15:30	ふれあいギャラリー・王子3丁目集会所
屋外活動(体操等)サロン	第2・第4水曜日	10:30～11:30	王子4丁目公園
そろばんサロン	第4水曜日	13:30～14:15	王子5丁目Eラウンジ
脳トレサロン	第1金曜日	13:30～14:15	王子光照苑ふれあいギャラリー
ガーデニングサロン	第1月曜日	10:30～11:30	ふれあいギャラリー・庭園
便利な情報調査隊	第3金曜日	15:00～16:00	王子光照苑ふれあいギャラリー
聞き書き「わたしたちの物語～時代をつなぐ語り～」	適時	適時	高齢者宅
わくわく学習教室	第1・第3水曜日	16:00～18:00	豊島地域

王子光照苑地域包括支援センター今年度予算

＜受託事業収入の部＞

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
受託事業収入	運営費（職員人件費、事務・事業費）	¥25,475,000	
	光熱水費	¥143,000	
	事務・事業費	¥269,395	
	ふれあいサロン運営費	¥162,000	
	非常勤職員等人件費	¥2,260,800	

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
受託事業収入	出張窓口職員加算費	¥753,600	
	認知症サポーター養成・ステップアップ講座	¥60,000	
	生活支援コーディネーター	¥6,000,000	
	認知症地域支援推進員・認知症支援コーディネーター加算	¥1,920,000	
	家族介護者支援事業費	¥40,000	
合 計		¥37,083,795	

<総合事業収入の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
介護予防・日常生活支援 総合事業収入	¥8,413×20名	¥168,260	初回加算
	¥4,993×156名×12	¥9,346,896	
	¥3,420×20名	¥68,400	委託連携加算
合 計		¥9,583,556	

<支出の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
土地建物賃借料支出	なし	¥0	
雑支出	講師費用・会場費・消耗品費	¥220,000	ふれあいサロン・オレンジカフェ
	講師費用・会場費	¥80,000	地域ケア会議
	講師費用・会場費	¥80,000	地域包括ケア連絡会
	講師費用・会場費	¥40,000	ケアマネ研修会
	自転車・雨具・長靴	¥105,000	¥35,000×3人
	リーフレット・用品	¥300,000	
	広報誌の発行・通信費・広告費	¥200,000	
	備品・消耗品	¥100,000	
	介護用品・備品	¥200,000	
	防災用品	¥100,000	
	サロン・会議等使用物品	¥150,000	
業務委託費支出	¥7,571×3名+¥4,493×70名×12ヶ月	¥4,046,676	介護予防ケアマネジメント委託
合 計		¥5,621,676	

<指定介護予防支援事業所収入の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
居宅介護支援介護料収入	¥8413×10名 ¥4993×10名	¥134,060	新規・委託連携加算
	¥4,993×186名×12ヶ月	¥11,144,376	
合 計		¥11,278,436	

<指定介護予防支援事業所支出の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
業務委託費支出	¥7,571×15名+¥4,493×90名×12	¥6,215,220	
合 計		¥6,215,220	

※計上したものの以外の購入物品は注文伺書、稟議書で管理と協議の上、調整すること。

2. 豊島地域包括支援センター（高齢者あんしんセンター）事業

目標とする地域像

住民が相互に支えあい「おたがいさま」な関係を築くことで、多様なつながりを広げてゆき、住み慣れた場所で最後まで安心して暮らせる地域

- (1) 住民が支ええられるようなおたがいさまな関係づくりの支援
- (2) 高齢者が社会参加できる生きがいづくりの支援と健康寿命の延伸
- (3) 介護サービス事業者・地域の関係機関などとのネットワークの構築
- (4) 安心して在宅生活を送るための体制の構築

実施計画

- (1) 地域包括ケア連絡会（豊島さすな円卓会議、おたがいさまネットワーク連絡会）の開催。ふれあい交流サロン・認知症サポーター養成講座（小学校含む）・オレンジカフェきたいな豊島・ほろよいカフェ・地域ケア個別会議（年2回）・地域見守りささえあい活動促進事業の支援・家族介護者教室の実施、短期集中予防サービス事業し地域で暮らす安心な体制を整備する。
- (2) いきいきサポーター制度の活用・自主グループ等活動団体の支援、通いの場づくり支援、元気はつらつサロン（年6回）全高齢者実態把握調査フォローアップ事業の実施（カムカム健康とよご男子、おたがい茶話会の継続）を実施し住民の活動の場の充実をはかる
- (3) 出張窓口事業・認知症初期集中支援チームを活用した連携体制の充実・各事業所運営推進会議への参加・おしゃべり塾・北区介護支援専門員研修実施協力
- (4) 虐待防止や虐待への迅速な対応や支援、成年後見制度の利用促進支援・多様な課題を抱えた在宅生活への支援を様々な機関と連携して行う。・BCPの検討、再確認
- (5) おたがいさまネットワークの充実、地域ネットワーク通信・広報誌の発行、認知症サポート店の拡大など地域のネットワークの構築を図る

<ふれあい交流サロン>

活動名	活動日	活動時間	活動場所
おひさまサロン	第3火曜日	13:30~15:30	豊島ふれあい館
ヨガサロン	第2・4金曜日	10:00、11:00~各1時間	豊島ふれあい館
ぽっかぽか	第1・3火曜日	10:00~12:00	豊島ふれあい館
囲碁・将棋サロン	第2・第4水曜日	13:30~15:30	豊島ふれあい館
わくわくシネマ	第1水曜日	13:30~16:30	わくわくステーション
ふれあいシネマ	火曜日	13:30~15:30	豊島ふれあい館
わくわく学習教室	第1・3水曜日	16:00~18:00	豊島ふれあい館

書道塾	第1・3火曜日	13:30~15:30	わくわくステーション
カレンダー作成			

豊島地域包括支援センター今年度予算

<受託事業収入の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
受託事業収入	運営費（職員人件費、事務・事業費）	¥25,475,000	
	臨時職員	¥5,254,000	
	事務・事業費	¥269,395	
	ふれあいサロン運営費	¥162,000	
	非常勤職員等人件費	¥2,260,800	
	出張窓口職員加算費	¥753,600	
	認知症サポーター養成・ステップアップ講座	¥60,000	
受託事業収入	生活支援コーディネーター	¥6,000,000	
	認知症地域支援推進員・認知症支援コーディネーター加算	¥1,920,000	
	家族介護者支援事業費	¥40,000	
合 計		¥42,194,795	

<総合事業収入の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
介護予防・日常生活支援 総合事業収入	¥8,413×70名	¥588,910	初回加算
	¥4,993×190名×12	¥11,384,040	
	¥3,420×20名	¥68,400	委託連携加算
合 計		¥12,041,350	

<支出の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
土地建物賃借料支出	なし	¥0	
雑支出	講師費用・会場費・消耗品費	¥220,000	ふれあいサロン・オレンジカフェ
	講師費用・会場費	¥80,000	地域ケア会議
	講師費用・会場費	¥80,000	地域包括ケア連絡会
	講師費用・会場費	¥40,000	ケアマネ研修会
	自転車・雨具・長靴	¥105,000	¥35,000×3人
	リーフレット（社会資源マップ）	¥200,000	
	自転車用ヘルメット	¥100,000	¥10,000×10人
	広報誌の発行・通信費・広告費	¥200,000	
	サロン・会議等使用物品	¥150,000	

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
業務委託費支出	¥7,571×15名+¥4,493×90名×12ヶ月	¥4,966,005	介護予防ケアマネジメント委託
合 計		¥6,141,005	

<指定介護予防支援事業所収入の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
居宅介護支援介護料収入	¥8,413×50名 ¥3,420×20名	¥517,935	新規・委託連携加算
	¥4,993×180名×12ヶ月	¥10,784,880	継続
合 計		¥11,302,815	

<指定介護予防支援事業所支出の部>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
業務委託費支出	¥7,571×15名+¥4,493×90名×15名	¥6,215,220	介護予防給付委託
合 計		¥6,215,220	

XII. 各事業共通項目

1. サービス業務管理

(1) 経営管理職会議

実施計画

- 苑内の経営課題やリスクを明確化し、情報共有と適切にマネジメントするために王子光照苑および堀船
- (1) 高齢者在宅サービスセンター、豊島高齢者あんしんセンターを含む管理職による最高決定機関として設置、運営する。(毎月第1金曜日実施)

(2) 目標管理

実施計画

- (1) 各事業において、事業計画策定時に設定した目標について検証を行い次期の事業活動に反映させる。
- (2) 目標管理事項および検証内容の確定
- (3) 課題分析
- (4) 財務分析（前年度実績対比、予算対比）および前回課題進捗状況、次期に向けての課題分析
- (5) 前回課題進捗状況、次期に向けての課題抽出
- (6) 実績を踏まえての翌年度事業計画検討
- (7) 年度実績に反省・事業報告検討

(3) 内部監査	
実施計画	
(1)	適切に業務遂行および、管理がなされているかを、内部職員の目でチェック、監査を行い指摘しあうことで、業務の見直し、または修正を図っていく。
(2)	福祉サービス第三者評価を受審し、外部の目を入れ事業の透明性を図る。

2. 管理部

(1) 財務管理	
中長期計画	①健全な経営を安定的に継続するとともに、介護報酬改正後の適正な人件費支出と適正な人員配置のために人材確保を行い、適切な人件費比率を分析するとともに、建物の長期的な使用が可能となるように対応する。中長期経営計画予算の定期的に見直しを行い、将来のための運営資金と老朽化に伴う施設整備費の内部留保を行なう。
実施計画	
(1)	各事業部門の利用稼働率、各費用の予算執行状況を経営管理職会議の課題として取り上げ、財務状況のデータ等を、会議資料として情報提供し、全職員が状況を把握した上で、施設の設備整備を計画的に行う。また、施設整備資金の確保計画を立案していく。
(2)	適切な人件費および人件費比率を四半期毎に検討・分析し、全職員が理解と意識をもって行動できるよう定例会議の場にて資料提供および報告を行う。さらに、介護職員の処遇向上の為に、介護職員処遇改善加算においては継続して申請を行う。
(3)	建物・設備を長期的に使用が可能となるように、体制を整える。

(2) インフラストラクチャー（設備管理）		
年度目標		
(1) 特養棟およびデイサービス棟の経年劣化、またセキュリティ管理に対する建物維持管理、補修・改修を行う。		
(2) 倉庫・収納スペースなどの見直し、増設の有無の検討。		
年度実施計画		
(1) 館内の設備整備を、緊急性および法令の観点から優先順位を策定し、安全な環境改善を図る。		
整備内容	概算予算	備考
(1) 特養棟火災受信機の機材更新	¥8,500,000	特養棟、老朽化のためメーカー補修部品なく更新が求められる
(2) 非常用照明交換工事	¥500,000	消防設備点検にて指摘あり
中・長期計画		
整備内容	概算予算	備考
(1) 浴室と脱衣室の仕切り扉仕様変更工事	¥4,000,000	劣化が著しいことと、事故予防のため、開き幅の変更を検討
(2) 在宅棟屋上及びバルコニー等の防水加工および、屋根庇塗装工事	¥4,200,000	防水加工劣化により、漏水部が複数あり
(4) 屋上収納小屋等の設置	¥1,000,000	建築法、消防法等に基づき検討

(5) 特養浴室リフト更新	¥3,000,000	経年劣化により更新が必要
(6) 2階・4階障子撤去・ロールカーテン設置	¥500,000×2	
(7) 5階入浴室内手すり等改修	¥300,000	
(8) デイサービスナースコールシステム	¥5,000,000	デイサービスの事故防止のため、ICT環境との連動が望まれる
整備内容	概算予算	備考
(9) デイ トイレ便器交換 5か所 床補修 壁補修	¥300,000	
(10) デイ浴室 床排水補修 出入口手すり設置	¥300,000	
(11) デイ温冷蔵庫コンセント	¥300,000	

＜今年度予算（支出）＞

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
整備費	特養棟設備点検等	(株)光和、東芝EV等	¥2,005,380	館内外設備、EV等
	在宅棟設備点検等	(株)光和、東芝EV等	¥1,237,220	館内外設備、EV等
	特養棟日常清掃		¥2,687,904	
	在宅棟日常清掃		¥1,025,136	
雑費		自己補修材料など	¥44,360	
合 計			¥7,000,000	

(3) 労務管理

中長期計画	①人材確保が容易となるよう、必要な資格要件者に対し、求職アプローチを確実なものとしていく。
	②各部門における必要な人材の把握を常に行い、都度人材採用計画を明確にしていく。
年度目標	
(1) 各部署、適切で確実な職員確保を目指す。	
(2) 介護保険法及び老人福祉法の法定上の配置基準・加算基準を明確にする。	
実施計画	
(1) 適切な求人を継続するために、ホームページの他、ハローワークに継続して求人を出す。	
(2) 新卒入職者の確保を目指し、専門学校や大学、短大などの就職センターへ求人情報を提出する。	
(3) 配置基準・加算基準に沿った算定表(チェックリスト)を事業ごとに明確化し、毎月作成された勤務表を基に作成し、法令順守されていることを確認する。	

＜採用ルート＞

① ハローワークでの募集
② 東京都福祉人材センター・東京都ナースバンク等への登録募集

③ 養成校及び実習校への求人票配布
④ 人材紹介・派遣会社への求人依頼
⑤ ホームページ求人情報の掲出

<今年の公休（1月1日～12月31日）>

月	管理部			施設サービス部			居宅サービス部		王子包括 豊島包括
	管理課	栄養課	リハ課	相談支援課	介護課	看護課	通所介護課	居宅支援課	
1	11	11	11	11	10	10	11	12	12
2	8	8	8	8	9	9	8	8	8
3	10	10	10	10	10	10	9	9	9
4	9	9	9	9	9	9	9	9	9
5	10	10	10	10	10	10	11	10	10
6	9	9	9	9	9	9	8	9	9
7	10	10	10	10	10	10	10	9	9
8	10	10	10	10	10	10	9	10	10
9	9	9	9	9	9	9	10	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	8	8
11	9	9	9	9	9	9	9	11	11
12	10	10	10	10	10	10	11	11	11
年間公休数	115	115	115	115	115	115	115	115	115

職員の勤務時間及び勤務内容（介護職員以外）

	生活相談員	介護支援専門員	看護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	事務職員
8:45	出勤・朝礼					
9:00	申し送り				発注	
	利用者ラウンド				食数	
10:00	ケアプラン・その他会議		受診付添			
	生活相談員業務	介護支援専門員業務	会議		会議	
11:00			処置			
11:30						
12:00	食事摂食状況観察		投薬	食事動作観察	食事摂取状況観察	①休憩(60分)
			食事摂取状況観察	移動・移乗援助		
12:45			休憩（60分間）			②休憩(60分)
13:00	休憩（60分間）	休憩（60分間）	受診付添		栄養事務	事務業務
14:00	事務整理	事務整理		利用者ラウンド		
			回診介助（月・木）			
15:00	利用者ラウンド					
16:00	面会					
17:00	申し送り・記録・業務日誌入力					
17:45	退 勤					

(4) 車両運用管理	
年度目標	
(1) 車両を一括管理し、運用面および事故・違反防止を推進する。	
実施計画	
(1) 運転業務従事者台帳を作り適正に管理する。	
(2) 事業運転従事者に対し、運転者適性診断や研修を企画・開催し、安全運転に関する知識と責任を周知遂行する	
(3) 車両の安全な運行のため、日々の点検やメンテナンスを行う	
月	内 容
4月	通所ワゴン（36-25）車検点検
	冬用タイヤ→通常タイヤへの交換
5月	運転者適性診断・安全運転研修
11月	特養ワゴン（710）車検点検
12月	通常タイヤ→冬用タイヤへの交換
2月	通所ワゴン（35-15）、（35-16）車検点検
2月	駐車禁止除外標章更新申請 ※3年毎。次回更新は2029年（令和11年）
3月	次年度運転者台帳更新

<今年度予算（支出）>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	安全運転管理者講習	¥4,500	年2回
	Dリングファイル	¥1,705	
合 計		¥6,205	

3. 災害対策

(1) 防災委員会の実施/防災訓練

中長期計画	①予測不能な大規模地震に備えて、各部署が自立した防災計画・訓練体制を構築する。
	②福祉避難所設置訓練を行う

<防災委員会・自衛消防隊>

年度目標
(1) 各事業所で計画に沿った防災訓練を実施する。訓練計画は各事業所で企画実施する。
(2) 災害時事業継続計画（BCP）の見直しを随時行う。
(3) 自動車および自転車の運転による事故を無くす。

実施計画	
(1)	各事業所における訓練計画に沿って、自衛消防隊教育班員を立ち合わせ、訓練評価および指導を行う。 防災に関する研修実施、毎月の訓練は、計画に沿って実施と評価をすることで職員の防災意識を向上させていく。
(2)	東京都及び北区のBCP見直しに基づき、福祉避難所設置を踏まえて、都度行政に沿った見直しを行っていく。
(3)	王子警察署と連携し、交通安全に関する研修を行い、送迎車および自転車運転に係る事故を予防する。
＜特養＞	
年度目標	
(1)	年間計画を作成し、他部署や関係機関と調整を図りながら実施する。
(2)	介護老人福祉施設として、必要なBCPを作成し苑全体の防災計画に盛り込んでいく。
実施計画	
(1)	消防設備の取り扱い訓練を行う。
(2)	災害に対する知識備えるため計画に基づき防災訓練を実施する。
(3)	防災BCPの見直しを計画的に行う。
＜通所介護＞	
年度目標	
(1)	災害に対する知識備えるため計画に基づき防災訓練を実施する。
(2)	通所介護事業所として、必要なBCPを作成し苑全体の防災計画に盛り込んでいく。
実施計画	
(1)	9月に震災を想定した防災訓練を実施する
(2)	2月に火災を想定した避難訓練を実施する
(3)	防災BCPの見直しを計画的に行う。

＜年間防災訓練計画＞

実施月	訓練活動内容			備 考
	苑全体・自衛消防隊	特養	通所介護	
4月	防災備品の確認	防災備品の確認・検討		
5月		防災訓練		
6月		BCP策定会議		
7月	消防設備点検	防災訓練		
8月		BCP策定会議		

実施月	訓練活動内容			備 考
	苑全体・自衛消防隊	特養	通所介護	
9月	町会総合防災訓練	町会総合防災訓練	地震を想定した避難訓練	
10月		防災訓練		
11月		防災訓練		
12月		防災訓練		
1月	消防設備点検	防災訓練		
2月		防災訓練	火災を想定した避難訓練	
3月	地域相互協定総合防災訓練	避難誘導訓練		町会・消防署要請

※消防法令及び、東京都の指導指針において避難誘導訓練は年2回以上の実施が義務付けられています。

<今年度予算>

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
給食費支出	職員用備蓄食品購入	¥200,000	
防災備品	LEDランタン×30台	¥90,000	
防災備品	備蓄アルカリ電池×100本	¥40,000	主に単1および単2型 ※単3型電池在庫あり
防災備品	その他備品類等	¥70,000	
合 計		¥400,000	

4. 広報活動

(1) 広報委員会

中長期計画	①高齢者を取り巻く環境変化の問題提起としての情報発信と、人材確保に通じる情報発信ができる
	②法人ホームページの作成と各事業所への検索機能の最適化を図る
年度目標	
(1) ホームページコンテンツの随時更新を、各事業所ごとに実施していく	
(2) 社会福祉法人として情報開示の対象となっている事項に関して、ホームページ上に公表し、随時閲覧可能な環境を整備・確保する	
(3) ホームページコンテンツのさらなる充実化の一環として、編集作業などのスキルアップ研修を企画・立案する	
実施計画	
(1) ホームページコンテンツの適切な更新を可能にするために、編集作業等の操作方法が各部署担当に確実に定着するように、技術指導等のフォローアップをしていく	
(2) 広報活動のさらなる充実化を図るため、必要な物品等の購入検討を実施する	
(3) 「王子光照苑のぼり旗(×5本)」を王子光照苑祭などの施設イベントで使用し、施設PR活動を図る	

<ふれあい通信Web更新担当>

部署	担当コンテンツ	更新頻度	備考
管理課	<法人概要> 沿革、役員名簿、事業関係報告、収支報告	5月および随時	一部コンテンツPDF配信
	<施設概要> 事業所概要、求人案内	随時	一部コンテンツPDF配信
部署	担当コンテンツ	更新頻度	備考
介護課	特別養護老人ホームの出来事ブログ	随時	
通所介護課	高齢者在宅サービスの出来事ブログ	随時	
堀船DSC	堀船高齢者在宅サービスセンターブログ	随時	
栄養課	献立および食事関連ブログ	随時	
包括	活動予定およびサロン関連ブログ	随時	

<今年度予算>

科目	摘要	積算内訳	予算額	備考
	ホームページサーバレンタル	31,700円×12ヶ月	¥380,400	
	旧サーバー残債	3,000円×12ヵ月	¥36,000	
	物品購入	予備費	¥30,000	
	物品購入		¥0	
科目	摘要	積算内訳	予算額	備考
	雑費		¥3,600	
合 計			¥450,000	

5. 人材育成

(1) 職員研修

中長期計画	①人材育成が図れるよう内部、外部の研修を計画し、それぞれの力量の向上図るために、専門的な知識・技術・能力が備わるよう、研修計画を作成する。なお、外部研修等は、復命書の提出と、報告の場を設ける。
年度目標	
(1)	人材育成（特に中間職員）を目的として、内部研修を中心に年度計画を立案して、現場に則した内容の講師の派遣及びリーダー層に講師に抜擢して、研修をすすめる。
実施計画	
(1)	年度初めに職員研修委員会を開催して、今年度の計画立案を実施。集合または少人数形式にするのか、外部講師を招集するのか、またレポート研修やWEB研修にするのかなど、研修の効果を念頭に置いた実施方法を随時検討する。

<年間研修計画>

開催年月	内 容	対象	主催（企画・運営）	備考
4月	BCPの理解と実践	全職員	防災委員会	
	BCPによる災害発生時シュミレーション1			
5月	ハラスメント対策とコンプライアンス	全職員	ハラスメント対策委員会	
	高齢者虐待防止研修	全職員	虐待防止委員会	
6月	感染症予防対策	全職員	感染症予防対策委員会	
	感染症発生時の対応シュミレーション1	事業所ごと	各事業所の感染症対策委員会	
7月	リスクマネジメント（事故防止対策）	管理者等	リスクマネジメント委員会	
随時	認知症研修	対象者等		
9月	BCPによる災害発生時シュミレーション2	全職員	防災委員会	
	施設の防災体制及びBCPの評価・改訂			
10月	感染症発生時の対応シュミレーション2	事業所ごと	各事業所の感染症対策委員会	
	BCP・感染症予防マニュアルの評価・改訂		感染症対策委員会	
11月	個人情報保護	全職員		
1月	職場のメンタルヘルス	全職員	安全衛生委員会・産業医	
	職員の健康管理・腰痛予防	全職員	安全衛生委員会・産業医	
	身体拘束と高齢者虐待予防	特養職員	身体拘束防止委員会	

リーダー研修

	令和5年度チームリーダー研修（主任以上2名）	東社協	¥32,000
	令和5年度管理職員研修（課長もしくは係長）	東社協	¥42,000
	リーダー育成研修	その他（ZOOM無料）	¥0

新人・無資格者研修

	新入社員オリエンテーション（就業規則倫理・身体拘束・虐待防止・看取り・感染症等）	管理課・各事業職長	¥0
	無資格者対象：認知症ケア研修又は初任者研修	WEB研修	¥100,000

苑外研修

	認知症ケア研修（仮）		
	安全対策管理者養成研修	全国老施協・推進協など	¥50,000

※講師の都合により、日程の変更があります。

(2) 実習生受入れ（施設実習担当委員会）	
年度目標	
(1) 感染症対策を検討しながら各学校と実習受け入れ体制を整える。	
(2) 段階に応じたプログラムを作成し、達成感や介護職にやりがいを感じてもらえるよう支援する。	
実施計画	
(1) 関係部署や感染症委員会で受け入れを検討し、相互に安心して実習出来る体勢を整える。	
(2) 実習担当が中心となり、進捗状況・プログラムの調整・実習ノートのコメットの管理をする。また、将来介護職が職業選択の一つとなるよう、各部署へ実習依頼をし、福祉の仕事のイメージや介護職のやりがいを感じて頂けるよう支援する。	
<通所介護>年度目標	
(1) 実習生の受け入れを積極的に行い、地域に開放された施設を目指す。	
(2) 実習生を受け入れる事により、職員の自身の見直しを行い、資質の向上に繋げる。	
実施計画	
(1) 社会福祉士、教員資格に伴う介護体験、区の職員による研修、職場体験等の実習生受け入れ体制を明確にし、年間予定スケジュールを作成する。	
(2) 統一した指導ができるよう、王子光照苑、堀船共通のマニュアルを新たに作成する。	

6. ボランティアの拡充

中長期計画	①ニーズの抽出内容や活動内容を整理し、ボランティア、職員がよりよい環境の中で活動できるよう、採用計画を立案する。またボランティアのスキルアップ向上の取り組みを発信する。
--------------	--

<特養>

年度目標	
(1) 余暇活動の充足と活動しやすい環境を整える。	
実施計画	
(1)	双方の安心に繋がるよう活動時には施設で検討された感染対策にご協力頂く。 のボランティアをHPやボランティアぶらさ等に募る。

新規

<今年度予算>（支出の部）

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
損害保険	¥300×10名	¥3,000	ボランティア保険
印刷製本費		¥20,000	台帳・製本・アンケート
文房具		¥5,000	ファイル・筆記用具
雑費		¥10,000	お菓子・お茶代など
合 計		¥38,000	

<通所介護>

年度目標
(1) 職員負担の軽減のためボランティアの導入を図る
実施計画
(1) コロナ禍において、ボランティアの活動意欲の維持や活動再開に向け諸般の事情を考慮しボランティア係、感染予防対策委員やリスクマネジメント委員会等で内容や対策を検討する。

<デイサービス慰問・演芸ボランティア依頼スケジュール>

紙芝居 (朗読おもと会)	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
フラダンス☆	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
手品	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
日本舞踊	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
バイオリン	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
ピアノ・コーラス	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
合唱(あじさいの会)	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
津軽三味線	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
カスタネット(絵本)	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
三味線	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
マンドリン	王子光照苑	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)
	堀船	調整中(感染症等の状況により、都度検討する)

※月間プログラム作成者は作成時確認の連絡をする。

7. サービス内容に関する苦情受付対応

年度目標
(1) 利用者、家族、地域の方からの苦情への対応は、当苑のすべての部門において、最優先すべき課題であると位置づけ、迅速かつ適切・誠実に対応する。
実施計画
(1) 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために第三者委員を設置し、利用者、利用者家族に対し苦情相談窓口を掲出する。

苦情処理体制

1) 当法人苦情相談担当

苦情解決責任者：鈴木 文子（社会福祉法人光照園 理事長）

苦情受付担当者：日比谷 登志子（社会福祉法人光照園 理事）

第三者委員：片倉 昭子（社会福祉法人子どもの虐待防止センター 常務理事）

第三者委員：石川 武敬（民生・児童委員）

第三者委員：宇田川 康（社会福祉法人光照園評議員：医師）

2) 当施設苦情相談担当

苦情解決責任者：室 岳男（王子光照苑 苑長）

苦情受付担当者：上野 靖博（王子光照苑 事務長）

苦情受付担当者：三浦 有加子（王子光照苑 副苑長※堀船DSC共通）

3) その他

都道府県 東京都国民健康保険団体連合会

担当：介護保険部 相談指導課

区市町村 北区

担当：介護保険課 給付調整係

8. 委員会

(1) ハラスメント委員会／コンプライアンス委員会

年度目標

- (1) 全職員に対するハラスメントの理解に向けた啓発活動を行ない、不適切なハラスメントに対する適切な対応及びその防止を図る。
- (2) カスタマーハラスメントのマニュアルの策定と啓発・研修企画を行ない、安心安全な職場環境の構築を目指す。
- (3) ハラスメント委員におけるハラスメントにおける知識や相談技術などの向上を目指す。

実施計画

- (1) 会議：2か月に1回（第1金曜日：15:00～）
- (2) 規程の周知の継続
- (3) マニュアルや指針の随時見直し
- (4) 研修の企画 職員への啓発（周知）職員アンケートの実施。
- (5) 発生時の臨時招集
- (6) カスタマーハラスメントのマニュアル又は啓発活動

＜今年度予算＞

支出

科 目	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	ハラスメント研修講師依頼料	¥27,400	

（２）身体拘束適正化委員会

年度目標

- （１） 身体拘束適正化における具体的な課題などの抽出と対応策の検討や啓発活動の実施をする。
- （２） 特に課題であるスピーチロック等の理解を深めるために研修企画や啓発活動を行っていく。

実施計画

- （１） 研修企画と実施（年2回）
- （２） 第4週金曜日17:30～（3ヶ月に1回）
- （３） 身体拘束の知識やスピーチロック防止の啓発活動
- （４） 新人研修の企画

＜今年度予算＞

支出の部

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	講師料	30,000円	¥30,000	外部講師
	外部研修	30,000円	¥30,000	東社協主催研修など
合 計			¥60,000	

（３）虐待防止対策委員会

年度目標

- （１） 全職員の虐待や人権擁護に対する正しい知識を啓発するとともに、意図の有無にとらわれず、施設全体で適切な対応を行うことで、小さい芽から摘み、その防止に努める。

実施計画

- （１） 入所者・利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともにその従業者に対し、研修を実施する（年2回）
- （２） 虐待の防止のための対策を検討する委員会の結果について、従業者に周知徹底を図る
- （３） 虐待の防止のための指針を随時見直しを行う
- （４） 虐待案件が発生した際はフローチャートの基づき、緊急対策委員会を開催する。
- （５） 新人研修の実施

(6) 虐待の芽アンケートを実施して集計分析を行う。

＜今年度予算＞

支出の部

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
	外部研修	10,000円	¥10,000	管理者向けの高齢者虐待防止研修への参加（外部）
	研修	2000000円	¥200,000	虐待防止における研修
合 計			¥210,000	

（４）感染症対策委員会

年度目標

- (1) 感染症対策フローチャートの随時更新、事例や新しいウイルス等の出現に対する感染蔓延防止策の検討をする。
- (2) 研修を行ない、感染症に対する知識のアップデートを図り、且つ個人的な手技などの感染防御策のスキルアップを図る。
- (3) その他、必要な内容に応じて感染症対策委員会にて対応策などの検討を行う。

実施計画

- (1) 会議：3ヶ月毎に開催（第4金曜日：17:10～）
- (2) 研修企画（年2回：1回は食中毒、もう1回はインフルエンザ、ノロウイルス等）
- (3) 感染症等シュミレーション（訓練）の実施（年2回）によりBCPの見直し。
- (4) 感染症に関するトピックスに対して施設として必要な事項における具体的な対応方法の検討。

＜活動予定＞

実行月	項目	実 施 内 容	備 考
6月	研修	感染症予防対策	全体研修
	訓練	感染症蔓延予防訓練・シュミレーション	事業所ごと
10月	検討	BCP・感染症予防マニュアルの評価・見直し	事業所ごと
	訓練	感染症蔓延予防訓練・シュミレーション	事業所ごと

＜今年度予算＞

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	研修	30,000円×2回	¥60,000	東社協主催研修など
	リモート研修	30,000円×3回	¥90,000	東社協主催研修など
	参考書費	50,000円	¥50,000	感染症関連の文献
合 計			¥200,000	

(5) リスクマネジメント委員会	
年度目標	
(1)	リスクマネジメント委員会における活動内容を各事業所で共有することで相互のスキルアップや類似事例に対する未然防止に繋げる。
実施計画	
(1)	事業所で解決出来ない問題に対しての検討
(2)	大きな事故に対しての報告共有及び対応策などの検証
(3)	事故の未然防止に繋げる。類似事例への対策。
(4)	スキルアップ→職員のリスクに対する経験値を上げていく。→原因分析や対策における引き出しを増やしたり、職種による視点などで違った対応策の検討が出来る。またこれらの機会が研修企画などに繋がる。

＜今年度予算＞

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
研修費	研修	30,000円×2回	¥60,000	東社協主催研修など
研修費	リモート研修	30,000円×2回	¥60,000	東社協主催研修など
合 計			¥120,000	

(6) 安全衛生委員会	
年度目標	
(1)	ストレスチェック結果等を元にしたフォローアップ
(2)	健康診断結果を反映した従事者健康管理
(3)	超過勤務の管理、削減
実施計画	
(1)	ストレスチェック結果を部署別、事業別、要因別に経年比較し、ストレス要因を分析の上、環境改善を進めていく
(2)	健康診断結果等の結果をそのままにせず、産業医の意見を課長以上の場長に報告し再検査の促しと確認を行っていく。
(3)	腰痛問診、職場環境巡視を毎月区分けして実施、その結果を踏まえ崩落・腰痛・転倒防止の危険因子の要因を分析し、職場改善・啓蒙活動の展開を図る
(4)	労災事故事例を報告書としてまとめ議題として提案し委員会において検証、予防策などを検討し、各事業所で相互に共有し、フィードバックを行っていく。また業務中の自転車移動についてはヘルメットの着用を事業所義務としていく
(5)	健康診断やストレスチェックなどについてフォローアップのため産業医による研修を開催する。
(6)	新しく導入する勤怠システムをもとに、超過勤務を確認し、委員会で周知。超過勤務削減につなげられるよう検討する。

〈実施計画〉

月	内 容
4月	前年度事業実績評価、特養棟 1 階職場環境巡視
5月	産業医研修計画、在宅棟 1 階職場環境巡視
6月	特養棟 2 階職場環境巡視、健康診断フォローアップ研修
7月	腰痛検診計画、ストレスチェック計画・EAP業者選定、在宅棟 2 階職場環境巡視
8月	ストレスチェック実施（下旬）、豊島・堀船事業所職場環境巡視
9月	腰痛検診、特養棟 3 階職場環境巡視
10月	インフルエンザ予防接種計画、在宅棟 3 階職場環境巡視、腰痛予防研修
11月	ストレスチェック結果報告、インフルエンザ予防接種、特養 4 階職場環境巡視
12月	次年度委員会目標検討、在宅棟 4 階職場環境巡視
1月	次年度事業計画内容検討、特養 5 階職場環境巡視
2月	健康診断予約票作成計画、メンタルヘルスケア研修
3月	腰痛問診、職場環境巡視後経過報告

〈健診計画など〉

健 診 内 容	対 象 職 員	実 施 月	実施場所	備 考
定期健康診断	生活習慣病予防検診	4月～3月	鶯谷検診センター	35歳以上
				35歳未満
	一般健診		みんなの北診療所	35歳以上は鶯谷の 他 1 回、35歳未満 は年間 2 回受診
	夜勤従事職員			
腰 痛 チェック	全職員	9月	問診形式	
	介護・看護職員	3月		
ストレスチェック	全職員（派遣含む）	9月	当 施 設	11月労基署提出
インフルエンザ 予防接種	全職員	11月～12月	職場内接種、他	

〈今年度予算〉

収入

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
福利厚生費	検診助成金	¥3,800×58名	¥220,400	福利厚生センター
	インフルエンザ予防接種職員負担	¥2,000×60名	¥120,000	職員より徴収
収 入 合 計 (A)			¥340,400	

支出

科 目	摘 要	積 算 内 訳	予 算 額	備 考
福利厚生費	生活習慣病健診	¥5,282×59名	¥311,638	鶯谷健診センター
福利厚生費	一般健診	¥7,000×10名	¥70,000	生協北診療所
福利厚生費	インフルエンザ予防接種	¥3,500×60名	¥210,000	支払総額
福利厚生費	ストレスチェック依頼料	100名単位×1 set	¥130,000	EAP業者
福利厚生費	ストレスチェック依頼料	¥50,000+消費税	¥55,000	産業医実施者経費
人件費	産業医報酬	¥50,000×12か月	¥600,000	
研修費	産業医研修	¥13,700×2回	¥27,400	
支 出 合 計 (B)			¥1,404,038	
総	計 (B-A)		¥1,063,638	

(7) 食事サービス委員会

中長期計画	①利用者への安定した品質の食事提供
	②食事を楽しむことができるようにする（イベント食など）
	③利用者が安全に召し上がれ得る食事形態の配慮
年度目標	
(1) 給食業務の標準化と新しい食事形態への順応	
(2) メニューの企画と提供について、季節のものや行事食を取り入れ、食事を楽しむことができるようにする	
(3) 安全に提供できて、効率的に管理できる非常食の整備	
実施計画	
(1) 行事食ごとにより良い食事が提供できるよう話し合う	
(2) 安全な食事が提供できるよう、新たな食事形態の提案とそれについての取り組みについての話し合いを行う	
(3) 安定した食事提供ができる様、非常食の整備を行う	
(4) 安定した食事提供において問題が発生した際に、効果的な解決策を見つけ出し、問題を解消する	

XⅢ. 地域社会福祉貢献活動

1. 地域福祉活動・地域行事

中長期計画	①社会福祉法人として、地元根付く信頼関係の構築を図り、地域住民の方が安心して生活が送れる関係を築く。
年度目標	
(1) 地域活動への参加	
(2) 地域開放行事の開催	
実施計画	
(1) 行きたくなる光照苑祭の開催。苑職員一体となった「運営本部」を設置する。	
(2) 絵本読み聞かせ発表会の開催	
(3) 町会と協働の防災訓練の実施（春と秋）	
(4) 夏祭りのお神輿巡行の際の休憩所の設置	
(5) 学習支援 ※	
(6) 緊急生活支援の積極的な受け入れ	
(7) 施設枠を地域住民に活用	

※北社協の子供支援の一つ

子どもの学習支援は、北区の「生活困窮者自立支援法」（平成25年法律第105号）に基づく、生活保護受給世帯の子どもを含む生活困窮者世帯の子どもに対する貧困連鎖防止のための事業です。

XIV. 中長期目標抜粋

介護老人福祉施設

1. 相談支援

(1) 生活相談・入所検討委員会

- | | |
|---|---|
| ① | 介護報酬に沿った改定、体制整備の実施と周知を基とした、安定かつ持続的な稼働率の確保 |
| ② | 安全安心な生活の提供を図る一環として、利用者が地域の一員として社会参加できるよう、地域との連携をより促進していく |
| ③ | 家族と日頃より連絡を密にし、家族の思いやニーズを汲み取り、相互信頼関係を構築し、それが利用者の日常ケアにうまく繋がっていけるように図る |

(2) 施設サービス計画

- | | |
|---|--|
| ① | 客観的、科学的介護を実践し、各部署へフィードバックすることで、より良い支援に繋がっていきけるよう、サービス担当者会議の充実化を図る |
| ② | 利用者・家族に対してより密なアプローチを行い、利用者・家族の意向を把握し、自立に向けた支援および、本人が楽しみの持てる生活が送れるよう、計画書を作成する |

2. 介護

(1) 介護職員の育成

- | | |
|---|-------------|
| ① | 支援の見直しと強化 |
| ② | 介護機器の見直しと整備 |
| ③ | 看取りケアの推進 |

(6) 生活環境整備（生活企画係）

- | | |
|---|---------------------|
| ① | 光照苑神社参拝や節分などの行事を実施。 |
| ② | 加湿器の設置やフィルター交換と清掃。 |

3. 看護

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ① | 配置医との連携を密にし、効率的な医療体制が取れ継続的に医療・看護を提供する |
| ② | その人らしく、意思の尊重のもと終の棲家としお見送りが出来る |

4. リハビリテーション（個別機能訓練）

- | | |
|---|--|
| ① | 利用者様にあった機能訓練を行い身体機能の維持に努めると共に、リスク管理と環境整備をすることで事故を予防して、利用者様に安心できる生活を提供する。 |
|---|--|

5. 栄養・調理（食事サービス委員会含む）

- | | |
|---|--|
| ① | 誤嚥や窒息リスクの低減など安全な食事提供により、健康被害を未然に防ぐ。 |
| ② | 利用者の満足度向上の為個々のニーズに応じた食事提供で、食事を楽しむ機会を増やす。 |

③	業務の効率化のためのツールや多職種連携を活用し、効率的に食事形態を管理
6. 施設サービス部専門委員会	
(1) 安全対策委員会（痰吸引・胃ろう等に関連する業務）	
①	喀痰吸引可能な職員を増やし、正職員は全員喀痰吸引の資格を有するようにする
(5) 褥瘡予防委員会	
①	褥瘡形成のある方又はその状況に限りなく近い剥離又は発赤などがる方、またはリスクの高い利用者の各部署と協働しながら計画作成を行ない、その防止に努める。またその防止を図ることで褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）→（Ⅱ）の算定を利用者比率80%の取得を目指す。

短期入所生活介護

①	地域貢献を念頭に、介護者等の介護負担軽減や緊急時案件（虐待や保護等）、緊急生活支援事業等、短期入所生活介護事業（以下、ショートステイと称す）の役割を適切に果たし、かつ安定した稼働率を保つ。また、リピーターの利用者や居宅介護支援事業所のCM等との関係も深め、より良いチームケアに繋がっていきけるよう図る。新規利用者の積極的受入れについても継続的に行い、リピーターになっていただけるよう、質の高いケアサービス提供を実施する
---	---

居宅介護事業

①	第8期北区介護保険事業計画に基づいた居宅介護支援事業を実施する。
---	----------------------------------

通所介護事業及び総合支援事業通所介護サービス

1. 高齢者在宅サービスセンター王子光照苑

①	高齢者在宅サービスセンター王子光照苑の特色の明確化と重度利用者受け入れのため、職員個々の介護力の向上
②	通所介護計画に基づいたPDCAサイクル循環を構築し、化学的介護の提供を行う
③	定期的な栄養状態の確認と各セクションとの情報共有（ケアマネジャー含む）を確実なものとし、在宅での生活継続支援を強化する
④	施設設備改修費用を確保するため、利用率の維持、向上に努め、収入の安定化を図る

2. 堀船高齢者在宅サービスセンター

①	堀船高齢者在宅サービスセンターの特色の明確化と重度利用者受け入れのため、職員個々の介護力の向上
②	利用者の生活行為向上のためのプロセスの共有と職種間の役割の明確化
③	定期的な栄養状態の確認と各セクションとの情報共有体制を確実なものとし、在宅での生活継続支援を強化する

認知症対応型通所介護事業

1. 高齢者在宅サービスセンター王子光照苑

①	在宅生活の安定した継続支援の確立とサービス提供の差別化（個別化）。事業所が培ってきたノウハウや利用することでのメリットを発信し、地域の方々に認知され、安心や信頼感を与える事業所となる。
②	施設設備改修費用を確保するため、利用率の維持、向上に努め、収入の安定化を図る

2. 堀船高齢者在宅サービスセンター

①	在宅生活の安定した継続支援の確立とサービス提供の差別化（個別化）
②	事業所が培ってきたノウハウや利用することでのメリットを発信し、地域の方々に認知され、安心や信頼感を与える事業所となる

北区委託事業

1. 地域包括支援センター事業

①	住民が支え、支えられるようなおたがいさまな関係づくりの支援
②	高齢者が社会参加できる生きがいづくりの支援と健康寿命の延伸
③	介護サービス事業者・地域の関係機関などとのネットワークの構築
④	安心して在宅生活を送るための体制の構築

各部共通項目

2. 管理部

（1）財務管理

①	健全な経営を安定的に継続するとともに、介護報酬改正後の適正な人件費支出と適正な人員配置のために人材確保を行い、適切な人件費比率を分析するとともに、建物の長期的な使用が可能となるように対応する。中長期経営計画予算の定期的に見直しを行い、将来のための運営資金と老朽化に伴う施設整備費の内部留保を行なう。
---	---

（4）労務管理

①	人材確保が容易となるよう、必要な資格要件者に対し、求職アプローチを確実なものとしていく。
②	各部門における必要な人材の把握を常に行い、都度人材採用計画を明確にしていく。

3. 災害対策

（1）防災委員会の実施/防災訓練

①	予測不能な大規模地震に備えて、各部署が自立した防災計画・訓練体制を構築する。
---	--

②	福祉避難所設置訓練を行う
4. 広報活動	
(1) 広報委員会	
①	高齢者を取り巻く環境変化の問題提起としての情報発信と、人材確保に通じる情報発信ができる
②	法人ホームページの作成と各事業所への検索機能の最適化を図る
5. 人材育成	
(1) 職員研修	
①	人材育成が図れるよう内部、外部の研修を計画し、それぞれの力量の向上図るために、専門的な知識・技術・能力が備わるよう、研修計画を作成する。なお、外部研修等は、復命書の提出と、報告の場を設ける。
(2) 実習生受入れ（施設実習担当委員会）	
①	社会福祉法人としての責任を自覚し、介護人材の育成のために貢献する
6. ボランティアの拡充	
①	ニーズの抽出内容や活動内容を整理し、ボランティア、職員がよりよい環境の中で活動できるよう、採用計画を立案する。またボランティアのスキルアップ向上の取り組みを発信する。
8. 委員会	
(7) 食事サービス委員会	
①	利用者への安定した品質の食事提供
②	食事を楽しむことができるようにする（イベント食など）
③	利用者が安全に召し上がれ得る食事形態の配慮

地域社会福祉貢献活動

1. 地域福祉活動・地域行事

①	社会福祉法人として、地元に根付く信頼関係の構築を図り、地域住民の方が安心した生活が送れる関係を築く。
---	--

